

ゆく年くる年

投稿者：平井幹男 投稿日：2013年12月31日(火)23時45分10秒

今年一年、山岳会の皆様には大変お世話になりました。

年末に次々に届く山行きの報告に、山岳会の灯火はまだまだ盛んに燃えていると、嬉しく思います。
来る年も、山岳会の皆様におかれましても、山岳会にとっても、すばらしい一年になりますよう、心からお祈りして、年頭のご挨拶に代えさせていただきます。

2014年もよろしく願いいたします。

八ヶ岳・アイスクライミング

投稿者：tani 投稿日：2013年12月31日(火)14時24分9秒

ご無沙汰しております。

12月は試験等であまり山には行けませんでした。八ヶ岳の南沢大滝・小滝へ2回(12月9-10日、21-22日)アイスの練習に行ってきました。

今年は氷の発達が早かったのですが、私たちが行った日は水氷でラインによってはウォーターアイスクライミング状態でした。

今回はいつもインドアジムで登っている同業仲間のアイスデビュー。インドアで登りこんでるだけあって、テンションかけずに登っていました。

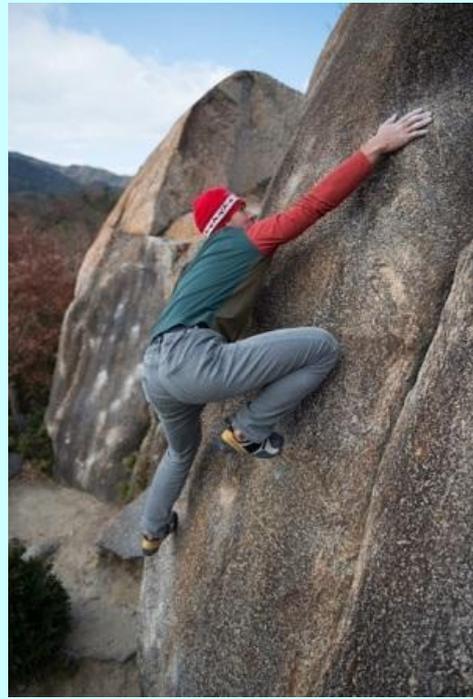
来年はメンバー全員の実力を底上げして、米子不動や大谷不動などのアイスのマルチへ行く予定です。と同時に、フリークライミングや外のボルダリングにも積極的に行きたいと思います。

- 1) 八ヶ岳南沢小滝
- 2) 八ヶ岳南沢大滝
- 3) 北山公園ボルダリング

追伸

今回は残念ながら勤務の都合で雪見会には参加できそうにありません。、、





八ヶ岳 つけたし

投稿者：大森雅宏 投稿日：2013年12月30日(月)23時39分23秒

八ヶ岳。

鼻毛のほかまつげも凍りました。強風にハナが垂れて風に飛んでゆきます。

余りの強風・寒冷に「赤岳カットして地蔵尾根から降りよう」とリーダーに懇願したのはワタシです。

昭和51年2月に渋谷さんポチさんほかで大同心に行ったとき、アブミが風に流されて登ることが出来ずギブアップして帰ったことがありました。

今回のリーダー山本掲出の1枚目の写真のザックのベルト。風に流されて水平にピラピラしています。

少しオーバーに言うとその時はアブミがあんな感じでした。

40年近くたって、こっちは変わりましたが風は変わっていませんでした。



八ヶ岳

投稿者：山本恵昭 投稿日：2013年12月30日(月)10時48分13秒

大森さんと、八ヶ岳の硫黄岳から横岳をラウンドしてきました。

28日美濃戸口を9:00に出発し、赤岳鉱泉12:30着。テントを張ってちょっと昼寝のつもりが、目が覚めるとあたりは真っ暗。急いで水作り、夕食を済ませる。

29日6:45発、しっかり踏み固められたトレースを硫黄岳へ9:00。稜線に出ると風が強く、顔が痛い。山頂のロボット雨量計跡に入り込む。3人入れば一杯位のスペースだが、風が無いので天国。

横岳へ向かう。途中数ヶ所のハシゴや鎖場は、スリル満点。天気が良く、大同心、赤岳、阿弥陀岳などの迫力ある姿が目前に聳える。しかし、とにかく風が強い。地藏仏に11:00。あまりの風の強さに赤岳はカットして地藏尾根を下り、行者小屋へ12:10。赤岳鉱泉13:00着、もう1泊の予定であったがそのまま撤収して14:00発。途中の美濃戸山荘で大森さんにおでんとモツ煮込みをご馳走になりホット一息。美濃戸口17:00着。

ガソリンスタンドで教えてもらった金鶏温泉はアルカリの良いお湯でした。諏訪南ICにも近く、しかも安い¥400。

久しぶりの冬山登山で、水筒の水が凍る、テントの壁面霜だらけ、風で頬が痛い、鼻毛が凍る、と当たり前のことを再確認して来ました。



Re: 雪見会

投稿者：雨宮 宏光 投稿日：2013年12月29日(日)20時58分7秒

飯田 進さんへのお返事です。

雨宮 安井 塩崎の三名。

1月17日～20日の間、2泊3日で参加します。現地天気次第で3泊になるかも知れません。

横浜で忘年会

投稿者：越田和男 投稿日：2013年12月25日(水)10時16分44秒

神戸での盛大な忘年会と比べて人数では寂しいが、昨夕、クリスマスとは関係ない70男6名が、横浜駅西口の展望のよい、一寸場違いな小綺麗なエスニック・レストランに席を取りしばし談笑した。

病気療養中の大関が参加できず残念だったが、米山、飯田、水渡、柏、大阪外大OBの田村に小生が参加。忘年というよりは、スキー合宿やら中央アジアへの来年の旅の抱負などの話題が多く、まあ歳の割には明るく元気に年を越せそうな気分になって解散した。

甲南山岳会の皆さん、どうぞ良いお年を！

芦田氏逝く

投稿者：武田雄三 投稿日：2013年12月19日(木)01時14分24秒

芦田氏逝くの突然の訃報に接し真に残念至極／どこと言って悪いところが有るとは聞いてい無かっただけに・・・。

ご逝去を悼み謹んでご冥福をお祈りします。

合 掌

訃報

投稿者：平井幹男 投稿日：2013年12月18日(水)21時35分41秒

芦田匡平さん『大35理』が、お亡くなりになりました。

ご葬儀の予定は、次の通りです。

日本キリスト教団洛陽教会

〒602-0867

京都市上京区寺町通り荒神口下ル松蔭町141-2

TEL 075-231-1276

前夜式 19日(木)19時～

葬式 20日(金)13時～

雪見会

投稿者：飯田 進 投稿日：2013年12月15日(日)10時20分2秒

雪見会 1月25, 6日中心に行います。奮ってご参加ください。

家族連れの方、その旨知らせてください。別部屋用意します。

忘年会

投稿者：塩崎将美 投稿日：2013年12月2日(月)10時11分59秒

30日に有志が集まり忘年会をやりました。



Re: ご報告します。

投稿者：越田和男 投稿日：2013年11月30日(土)12時12分25秒

> [No.1944\[元記事へ\]](#)

先日、東京甲南会の評議員会に出席して、副学長の西村順二氏から、学園の現状についてのお話を拝

聴する機会がありました。

昨今、学生の部活、特に体育会離れが顕著であり、今や絶滅危惧種となっている伝統のある部に対する復活援助策などを考えて行きたいとの発言がありました。部の名前は出されませんが、平井会長の報告にあった彼の発言と符合するので、ご参考まで。

新刊紹介 『極限への挑戦者』

投稿者：雨宮 宏光 投稿日：2013年11月26日(火)17時24分32秒

ラインホルト・メスナー著 スラニー京子 訳

東京新聞社 刊 ¥1800

メスナーの山岳家、探検家、哲学者、政治家、農場主、山岳博物館の企画・経営者、家庭人……等々の人生において、

そのつど書いたり語ったりしたものを一書にまとめた興味深い本。

専門的山岳用語については、平井吉夫が翻訳者のスラニー京子にアドバイスしています。

ご報告します。

投稿者：平井幹男 投稿日：2013年11月25日(月)10時46分36秒

11月23日勤労感謝の日、摂津祭開催中の大学に於いて体育会OB,OG会長会が開催されました。会議内容は部員不足の解消やスポーツ推薦、特待生の問題点等、白熱した質疑応答があり、特に現在3部、4部に低迷している部から、1部にいる部だけに偏りがあり、不公平感があり、何とかしてほしいという声が出ました。次に開催された懇親会の最初のスピーチに指名されましたので、体育会や予算を担当する副学長、父母の会の会長に、部員不足どころかもはや絶滅危惧種に指定されそうな山岳部は特に90年の歴史を誇り、ましてや廃部等、教育の原点に逆らう事になるとアピールして、スピーチを終えました。しかしこの部でも部員不足は深刻で、ワンダーホーゲルでさえ全部員で4名だそうです。

新聞広告 1

投稿者：大森雅宏 投稿日：2013年11月24日(日)11時58分3秒

越田さんご紹介の甲南大学の広告のこと、画像を貼り付けます。

画像1 中井先生の1枚目

画像2 中井先生の2枚目

画像3 1枚目の冒頭にある正門のつい最近

中学受験の際の正門の印象についてはいくつかの随筆でも取り上げておられます。

甲南の新聞広告の写真、「正門に集う健児」は「鳩杖」のカットにも使われていました。

「白熱した授業」も「鳩杖」にあったように思いますがちょっと記憶があいまいです。

山岳部の写真は奥山さんや福田さんの写真資料にもあったものです。福田さんのアルバム・蔵書は甲南の資料室に寄贈されたと聞いていますので、その中から選ばれたものでしょうか。

「正門のつい最近」は先日部室を片付けに行ったときのものです。木々の成長でずいぶん感じが変わりました。



中井 久夫

(精神科医・文筆家 元 甲南大学教授)

統合失調症の治療や研究で名高く、阪神大震災では心のケアに尽力した。詩の翻訳やエッセーの分野でも活躍し、読売文学賞や毎日出版文化賞を受賞。その功績から、本年度の文化功労者に選ばれた。

生徒と対等に接する、教師陣との関係性のなかで、

様々な個性が育まれました

当時の甲南生は、スマートであることが大切でした

終戦の翌年、旧制の甲南高校に入学しました。受験で訪れたとき目にした学校の正門は、柱が低くて扉もなく、外に開かれています。校名も小さな表札に記されているだけ。当時、多くの学校で感じられた戦争の名残りのような官僚的ないかめしさはなく、真の意味で開放的な学校だと、すぐ気に入ってしまいました。

7年制学校で、図書館の蔵書は充実していました。小学校を卒業したばかりの生徒でも、哲学書などを読むことができました。貴重な洋書の原書に触れ、ドイツ語とフランス語を熱心に勉強するきっかけになりました。欧米の学生はラテン語を学んでいると知り、敗戦の悔しさも手伝って、少し背伸びをするつもりでラテン語も学びました。

教師は若いながらも、熱心で幅広い知識を持つ人が多かったと思います。幼い生徒に、難解でも将来を見据えた授業をして

くれました」とはいえ一方的な押し付けではなく、短歌が得意な生徒を「天才だなあ」と賞賛するなど、対等で親密な関係でした。生徒同士も同人誌を作ったり、好きな科目の勉強会を開いたりと自主性がありました。勉強以外の分野でも、他人に負けない「芸」を持っている個性的な生徒ばかりでしたが、まとまりがありました。

当時は文部省(現文部科学省)の進級基準が厳しく、クラスの一割の生徒はパスできないといわれていました。みんな夜まで学校に残り、判定会議の結果をいち早く聞きたすのが通例でした。進級できなければ



▲自由な校風を象徴する校門に集う健児たち

は一大事ですが、悲観することもなく、二種のお祭りとして楽しんでいました。高い水準の勉強をしているという自負があったし、実際、進路に困ることはない時代でした。

内心は別にして、進級や進学とときに目の色を変えることなく、悠々としているべきだという発想が、当時の甲南生にはあつたと思います。例えば、試験前日に友人が遊びに来たら、黙って付き合うのが当然でした。遊ぶ間があれば試験勉強をしたいのが本音でも、それを口にはしない。目の先の点数や結果ばかりを気にする、いわゆる「ガリ勉」タイプは、あまり評価されず、スマートであることが大切でした。

スポーツも同じです。山岳部では荷物を分けて山に登るのですが、実は全員、「俺の荷物が一番重いのでは」と考えながらも、誰も不満を口にしなかった。単なる強がりであっても、それが険しい新ルートでの登頂

を実現させたのではないのでしょうか。

型に当てはめきれないのが、甲南らしさでは

精神科医として多くの患者と接し、母校で教授を務めました。40数年を経ても、甲南大学には昔と同じ気風が受け継がれていると感じます。全国から学生が集まるようになりましたが、すぐ甲南カラーになじむようです。のんびりした雰囲気は健在だと感じます。

ただし、「甲南生かくあるべき」というステレオタイプの押し付けがもつとも似合わない学校、それが甲南だともいえるでしょう。これからの学生に自然に身につけてくるものがあるとしたら、それは私が旧制高校時代から過ごした日々で感じた甲南らしさと、大きく変わってはいかないでしょう。



▲教育熱心な教師と向学心に富む生徒による白熱した授業



▲「正志く強く、朗らかに」スポーツを通じ心身共に成長した生徒

告 白

企画・制作

日本経済新聞社クロスメディア営業局



新聞広告 2

投稿者：大森雅宏 投稿日：2013年11月24日(日)11時38分10秒

1 の続きです。

画像1 10/27の朝日新聞 天声人語

画像2 松下さんの記事

画像3 3人目は生け花の小原流家元、小原氏。山とジャンル違いですが、南里さんの印象的な授業のことが出ています。





ヒロ松下(松下 弘幸)

(元レーシングドライバー 実業家)

日本人初のインディカードライバーとして、1990年から9年もの間、トップドライバーとして活躍を続ける。現在は、日本とアメリカの二つの会社の会長としてビジネスシーンで活躍中。

苦勞や努力している姿を見せない「エエ格好しい」

十代前半から半ばは「輪車レース、大
学に入ってから四輪車レースに興味を
持ちました。実績を積み、プロへの誘い
も受けました。しかし、レースしか知ら
ない人生は嫌だったので、3年間は企業
でビジネスを学び、知り合いもいない米
国に渡りました。当時日本人には縁遠
かった、世界最高水準の自動車レースで
ある「インディカーレース」が目標でし

た。ほとんどゼロからのスタートでした
が、現地でステップアップして、日本人と
して初参戦を果たしました。

甲南には幼稚園から大学まで通いま
した。中学高校時代は、母親が作る弁
当がおいしそうだと先生が羨むので食
べてもらったら、中国語の札状をしたた
めて弁当箱の中に入れ、返してくれた
こともありま。大学時代は週末レー
スで遠征すると、月曜日の早い時間は
語学の授業に出席できません。先生に
事情を打ち明け、「出席できなくても、
テストでは必ず高得点をとるから、單
位を認めてほしい」と直訴したら、意外
にも認めてもらえました。ユニークでス
マート、風流な先生と、対等な人間同士
の付き合いができる学校でした。
甲南は多彩な人々が集まってくる学
校だと思います。スポーツや音楽など

興味のある分野で、自分の可能性を自
由に追求していました。生き方について
も、回り道しやすい雰囲気があったよ
うに感じます。むしろ「将来はこうあ
らねばならない」という押し付けには、
強い反骨精神を持つのが、甲南生の愛
わらぬ特徴だという気がします。

学校が立地する神戸は、フアッション
など自由で柔軟な発想が受け入れら
れる土地柄です。良い意味でも「エエ
格好しい」が多い街ではないでしょう
か。例えば、水面下では必死で水をか
いていても、美しい水の上の姿しか見せな
い水鳥は、甲南生のイメージに重なりま
す。苦勞や努力している姿を見せたく
ない「エエ格好しい」志向は、OBも現役
も同じでしょう。ある意味、甲南は神戸
に「相似合う学校」といえるかもしれま
せんね。

レースの遠征に理解を示してくれた

懐の深い、大学時代の先生

カニキノ会

投稿者：山本恵昭 投稿日：2013年11月17日(日)18時34分8秒

16日、先週の寒波の影響を心配していましたが、何とか駐車場まで車で入ることができました。足首から膝ほどの雪は積もっていましたが、根曲がり竹も雪に倒れ案外歩きやすかったです。雪のためライバルがないようで、倒木の雪を掻き分けて探すとなかなか上物のナメコが大量に採れました。

皆さんと合流して山頂往復。好天に恵まれてのんびり登山。山頂の小屋で昼食。

下山後は七釜温泉で温まり、宴会へ。皆さんがお持ちくださった日本酒、泡盛、ワインを頂きながら、マイタケ天婦羅から始まり、焼きカニ、カニキノ鍋と。風も無く穏やかな夜に、楽しいウダウダ話。

17日、この日の競り市は魚が少なく、塩崎さんが苦勞して手に入れてくださったセコガニのみとなりました。こんな時もあるのですね。

ご参加の皆様、有難うございました。

カニキノ鍋 in 浜坂

投稿者：tani yuki 投稿日：2013年11月16日(土)19時33分34秒

現地から報告します??

扇ノ山は少し雪で覆われていましたが、雪の下にはナメコがどっさりありました。

楽しく宴会やってます！





カニキノ下見

投稿者：山本恵昭 投稿日：2013年11月11日(月)22時17分14秒

今日、妻を積んで扇の山へ下見に行ってきました。

林道は問題なしでしたが、畑が平は冬型でザザ降り。

妻は車で読書。私は雨具を着てヤブ漕ぎ。

ナメコ・ムキタケ・クリタケを少々収穫したものの、みぞれがあられに変わり早々に退却。午後気温が下がってからは雪になっているのではないかと思います。

キャンプ場と公園を確認して、七釜温泉で暖まって帰ってきました。

土曜日は少し冬型が緩むようですが、今週の寒波でキノコは雪の下でしょうかね。

基本的に雪が積もっていたら、無理せずに早い目に温泉・宴会・酒パターンに突入と考えています。

採れなかったとき用に今日採ってきたナメコとムキタケ、以前採って冷凍してあるマイタケを持っていきます。

現在、参加連絡を頂いているのは、平井さん、塩崎さん、柏さん、浪川さん、谷くん（16日のみ）です。
準備の都合がありますので、参加される方はご連絡をお願いします。

Re: カニキノ

投稿者：塩崎将美 投稿日：2013年11月11日(月)08時40分15秒

参加させていただきます。

早朝六甲を出て畑が平へ行きます。

同乗者募集。

塩崎

(無題)

投稿者：飯田 進 投稿日：2013年11月5日(火)10時50分46秒

秋も深まり、皆様方におかれましては、ますますご健勝にてご活躍のこととお喜び申し上げます。

小生慣れないパソコン扱っておりましたが、このほどメールアドレスが全部消滅してしまいました。皆様ご多忙とはぞんじます小生宛の、試験メール打っていただけたら幸甚に存じます。

よろしく申し上げます。

カニキノ

投稿者：山本恵昭 投稿日：2013年11月4日(月)09時41分34秒

まだ下見にいかけていませんが、カニキノ会を16日（土）17日（日）で行います。

私は16日早朝から森に入ろうと思います。

山に入られる方は16日10時に畑が平駐車場に集合ください。

夕方、16時頃から浜坂のキャンプ場でカニキノ鍋をする予定です。宴会から参加の方は、16時頃にキャンプ場へお越しください。ただし、キャンプ場の流しが使えない場合や浜風が強すぎる場合は、以前使用していた公園へ変更します。

17日は競り市でカニを購入して解散予定。

参加される方は、掲示板などでご連絡ください。

Re: 中井久夫先生の文化功労者

投稿者：越田和男 投稿日：2013年10月27日(日)16時05分38秒

> [No.1930\[元記事へ\]](#)

今朝の朝日の天声人語は、中井久夫氏を絶賛。大森君指摘の統合失調症の治療への貢献にも言及されています。賀茶さんから聞いていた、テントの中でドイツ語やらフランス語が飛び交ったお話とも符合する箇所あり。お見逃しなく。

中井久夫さん文化功労者に

投稿者：越田和男 投稿日：2013年10月25日(金)18時42分30秒

甲南山岳会の会員が文化功労者に選ばれたニュースに接し、大変うれしく存じました。精神科医にして研究者、翻訳・著作活動に今なおご多忙な日々を送って居られる中井さんに、何年か前の山嶽寮に、終戦直後の穂高涸澤合宿のことを書いてもらって良かったですね。あの時は同級生（昭和27年新高）の小原耕治先輩の勧めで、大森雅宏君がご自宅までお願いに行ってくれたのでした。

中井久夫先生の文化功労者

投稿者：大森雅宏 投稿日：2013年10月25日(金)18時35分35秒

昼のニュースで中井先生の顕彰の事知りました。職場から書き込む訳にもいかないので、帰りの電車で打っています。

旧制の方は、正何位とか叙勲などあったと思いますが、文化功労者は格別ですね。統合失調症に関する功績ではないのはなぜかなあという気はしますが、いずれにしても、高い評価を受けられて、素晴らしいなと。身内が入院していて、今夜は付き添いなのですが、一冊持ち込んでじっくり読んでみます。

白山北部 中宮道～岩間道

投稿者：山本恵昭 投稿日：2013年10月15日(火)22時56分0秒

この時期、いつも妻と紅葉巡り山行に行くのですが、今年は妻の都合が合わず独りで白山北部を訪ねてみました。

12日準備に手間取り、家を2:30発。仮眠をしながら小松IC経由で中宮温泉へ8:00着。晴れの予報がザザぶりの大雨である。車の中で様子を見てみると、小止みになったので9:00発。急登を終えると、立派なブナ林の中を行く。雨模様なのに途中の水場の水は涸れている。11:30シナノキ平避難小屋に着くと同時に、再びどしゃ降りになる。小屋でしばらく待機。しばらく待っても止む気配がないので、覚悟を決めて12:15出発。良く踏まれた道をたどると、ゴマ平避難小屋14:30着。

コースタイムよりかなり早く着くことができた。念仏尾根からの先客が1階に3名、誰もいない2階に陣取る。小屋のすぐ近くに豊富な水場があり便利。その後、続々と登山者がやってきて、結局12名で大賑わい。

13日6:00発。風が強いが、天気は上々。高度を上げるに従って視界が開けてくる。右に地獄尾根、左に奥三方岳を見て進むが、まだまだ白山は遠い。昨夜、上部は雪だったようで斜面が白い。北弥陀ヶ原は、草原に岩が散在し日本庭園のようだ。枝に付いた霧氷が風に飛ばされて降り注ぎ、寒い。お花松原付近はナナカマドの紅葉が美しい。大汝峰11:00着。とにかく風が強く、大汝神社の石囲いで休憩する。

七倉山分岐を経て岩間道を下る。小桜平避難小屋への分岐に13:30着。計画では小桜平避難小屋で2泊目の予定だったが、時刻も中途半端なので、さらに下ることにする。ここからは急な尾根の真直ぐな下り道を苦労して降りる。

岩間休憩舎15:30着。トイレとベンチ、そして無料の岩間温泉元湯の露天風呂がある。とりあえず服を脱いで露天風呂に浸かる。一緒に入っていたおじさん達は、登山に来たけれど初日の雨で嫌になり、酒と肴を買い込んでここで温泉三昧とのこと。テントも3張ある。今夜の宴会に誘われるが、後ろ髪を惹かれる思いで林道をさらに下る。新岩間温泉に16:50着。旅館の人に中宮温泉まで送ってもらえないかたずねるが、夕食準備で忙しいので無理とのこと。さらに車道を下り、三又発電所の送水管沿いの急階段を下ってスーパー林道へ出る。車が止まってくれるのを期待しながら、結局、中宮温泉まで歩くことになる18:00着。

長く奥深いコースでした。13日は2日分歩いて結局12時間行動。我ながら良く歩きました。



秋の集会

投稿者：平井 幹男 投稿日：2013年10月15日(火)08時49分40秒

秋の集会出席の皆さまお疲れ様でした。

好天に恵まれ、関西、関東方面から一同に集合しての宴会、本当に楽しかったです。先輩方の色々な話をアテにお酒も進み、特に小原先輩の武勇伝に時の立つのも忘れ宴会は大いに盛り上がりました。翌朝、記念撮影の後、部歌を斉唱し来年の再会を約束して解散となりました。

MI 茸

投稿者：山本恵昭 投稿日：2013年10月8日(火)21時58分2秒

またまた行ってきました、天然MI茸探し。雨の後なので、品質は今一ですが、数は採れました。家で干していると、家中にMI茸の香りが充満しています。ここ数日、天ぷら、バター炒め、キノコご飯など、MI茸尽くを贅沢に楽しんでいます。

一部冷凍しましたので、カニキノコの会に持って行きます。お楽しみに。





カニキノの会

投稿者：山本恵昭 投稿日：2013年9月30日(月)23時34分16秒

平井会長から、カニキノの会の日程について問い合わせがありました。

11月6日にカニ漁解禁ですが、9日はオープンハイスクールで出勤しないといけません。

そのため、カニキノの会は16日17日の土日になるかと思います。

また、雪が来なければいいのですが、こればかりはお天道様次第。

皆様、日程調整のほど、よろしく願います。

Re: 中井久夫先輩の連載

投稿者：大森雅宏 投稿日：2013年9月30日(月)23時03分11秒

越田様

ニュース有難うございます。

朝日は高校生の頃社会科の先生が熱心な読者でした。その頃はよく読みましたが社会人になるとちょっとセンが違うなあ。最近はある縁がありません。

でもそこは中井先生のこと。5日連載なら駅の売店で。

明日の朝買えるかな、とも思いましたが、「朝日新聞デジタル」というのがあるわと手続きしました。

無料会員のクチです。朝日さん済みません。

早速拝見しました。

朝日新聞といえば八木君の父上が社会部の記者をしておられました。

脱線すると長くなるので話はここまで。

中井久夫先輩の連載

投稿者：越田和男 投稿日：2013年9月30日(月)18時18分9秒

今日の朝日の夕刊から、コラム「人生の贈りもの」で5回連載が始まりました。中井久夫ファンの方はお見逃しなく。

M茸宿題

投稿者：山本恵昭 投稿日：2013年9月29日(日)09時39分54秒

先週のM茸宿題をクリアしてきました。

金曜夜発、兵庫県北部の某登山口で車中泊。土曜日夜明けと共に森の中へ。シカの足跡を頼りに急斜面を右往左往。

「お！あれは」と駆け寄ると古くてボロボロ、舞い踊るには役不足。さらに急斜面をトラバースしていると、1本の木から5株発生。1株収穫、残り4株は出始めでまだ小さいので残置。シイタケ、ヒラタケを少し追加して帰ってきました。

昨夜は、贅沢天婦羅をあてに呑み過ぎました。

紅葉にはまだまだですが、山の中は秋の前触れが訪れていました。



秋の集会参加者

投稿者：渋谷一正 投稿日：2013年9月28日(土)13時49分55秒

1. 鈴木敬吾、2. 小原耕治、3. 砂川彰雄、4. 雨宮宏光、5. 鈴木頼正、6. 田辺潤、7. 越田和男、8. 飯田進、9. 武田雄三、10. 安井正、11. 塩崎将美、12. 井上知三、13. 平井幹男、14. 渋谷一正、15. 松下哲夫、16. 米山悦朗、17. 川村静治、

嬉しいお知らせ

投稿者：武田雄三 投稿日：2013年9月26日(木)13時08分19秒

今年10月開催の「スポーツ祭東京」に昨年度のぎふ清流国体に引き続き、

現役部員武田友希さんが兵庫県少年男子山岳部門の監督として参加との情報が入りましたのでお知らせ致します。

「彼女は兵庫県山岳連盟の青少年指導者（主としてスポーツライミング部門）として活躍しています。」

Re: 木屋谷川遡行（台高山脈国見山）

投稿者：山本恵昭 投稿日：2013年9月24日(火)01時24分50秒

以前妻と行った時、美しい森が好印象だった明神平。今回は沢登りで行ってみました。

メンバーは、カンさん、浪川さん、井上さん、大森さん、私の5名。

9月21日（土）5:00に家を出発、名谷、芦屋、豊中と各御宅を回り、最後は近鉄大和八木駅でカンさんと合流。南阪奈道が伸びていて、思ったより早く着いた。高見トンネルを越えて、青田発電所から木屋谷林道を進むが、菅谷川出合で車は通行止めとなる。

荷物をまとめて10:20発。30分ほど林道を歩き、マナコ谷出合の桧塚登山口を過ぎて少しの橋で沢装束になり入渓11:30。特に困難なところも無く、美しい谷を楽しみながら次々と現れる小滝を越えて、12:30ワサビ谷出合。休憩の間ちよつと竿を出すと15cm位のアマゴが釣れた。12mの滝は左の泥壁にロープが下がっていて、それをたどる。続く廊下で、井上さんがドボン。水はそれほど冷たくない。それをきっかけに皆さん濡れることを恐れず、ジャバジャバと胸まで浸かりながら進む。チョックストーン滝3mは、浪川さんがトップで登り、上からお助けシュリングを出してもらって越える。ここ以外は特にロープを出す悪場も無く、奥山谷出合13:30。明るくなった谷をさらにつめて、3段20mがかかる鉄砲谷の出合を過ぎ、1110m二俣14:30。

もう沢歩きは堪能したとのことで、ここから二俣の間の尾根を登る。ブナ、ミズナラ、ヒノキの美しい自然林の中、M茸を探すが見つからず。やがて稜線の登山道に出て、国見山16:00。水無山を越えて、明神平16:40。先客テントが5張ほど。

奥山谷側の森の中にテントを張り、3分の水場に水汲み、焚火、鍋、酒と、お決まりのコースに。私は焚火の横でいつの間にか寝てしまい、夜中にテントへ。

22日（日）5:00前に目が覚めてしまい、ひとり森から明神平へ出てお月見、水無山方面の中腹まで登り御来光を眺める。焚火をおこして、ゆっくりと朝食。

8:00発、登山道を行かず、テント場から森の中を直接明神岳へ。桧塚奥峰までは、美しい森の散歩道。皆さんに先に行ってもらい、途中で何度も荷物を置いて木屋谷側に下り、ミズナラの大木をめぐるM茸探し。結局M茸は見つけれなかったが、キャンプ適地を何箇所も見つける。次回に期待。絶好の展望台、桧塚奥峰に10:00着、ゆっくり休憩。桧塚はすぐだが、マナコ谷への下降点を見落として戻り、時間ロス。

桧塚奥峰から少し進んだところの左の尾根に赤テープ。踏み跡をたどると、植林地の中のはっきりした道をひたすら下り、マナコ谷出合登山口へ 12:30。林道を下り、駐車地点へ 13:00。

たかすみ温泉桧風呂で汗を流し、昼食をカンさんにご馳走になる。大和八木でカンさんとお別れし、各御宅を回って、神戸へ。

沢遊び、アマゴ釣り、ヤブ漕ぎ無しの美しい森、焚火キャンプ、温泉と、おもしろこと盛り沢山の山行でした。これに、天然M茸が加われば、完結だったのですが、残念。



久しぶりの遡行

投稿者 : kannroku 投稿日 : 2013 年 9 月 23 日(月)17 時 49 分 21 秒

台高北部の国見山に突き上げている木屋谷川の遡行に行ってきたが、とても静かな山行でテント場の明神平で 3 組ほどの人達に会っただけでした。

久しくやってなかった川遊びは新鮮な気持ちになりました。

井上君はドボンと落ちたり、私も腰ぐらいまでつかってしまい、携帯をおじゃんにしてしまったりと。テントを張った明神平は素晴らしい高原で、心を癒してくれました。

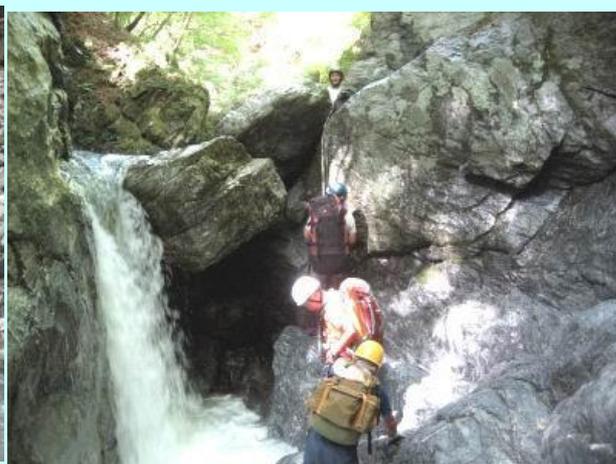
何時もながら恵昭さん・大森さん・ドン吉さん等に助けられ楽しい山行でした。

皆さんありがとうございました。

木屋谷川遡行 (台高山脈国見山)

投稿者：大森雅宏 投稿日：2013年9月23日(月)10時11分27秒

谷君のタイランドの次に出すのが憚られる近場の山なんですけど。
大台が原の北の方にある木屋谷川の沢登りに行ってきました。
山本リーダー以下ご参加はカンさん浪川さん井上さんと大森の5人。平均年齢60歳超え。
記録はいつものように山本リーダーが出してくれると思うので写真貼り付けておきます。



タイ・クラブ クライミングツアーその1

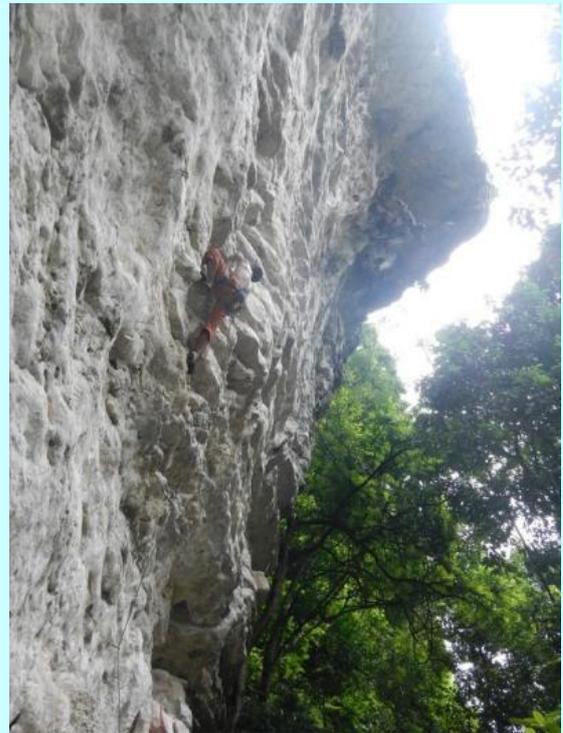
投稿者：谷 勇輝 投稿日：2013年9月16日(月)23時42分35秒

先日は部室清掃お疲れ様でした。

先日、夏休みを利用し、タイへクライミングツアーへ行ってきました。
場所は学生時代から馴染みのあるタイ南部のクラブ地方です。
ビレーヤーは今回も現地で調達しました。

雨季でローシーズンとのことで、宿は安く泊まりましたが、思いのほか波が高く連日雨・・・
最終日の一時雨が上がったので、ルーフ状の岩場で雨をしのげるポイントを探してクライミング成功！

今月は25日26日で錫杖に行く予定です。今年は天候に恵まれず、計画は今回で4回目。一本ぐらいは登っておきたいところです。



シベリア3

投稿者：塩崎将美 投稿日：2013年9月10日(火)14時40分33秒

シベリア鉄道の車窓から。

イルクーツクやバイカル湖の紅葉はまだまだ、しかし滞在中の気温は朝晩6度ぐらいに冷え込みかなり寒かったですから一気に黄色くなるのでしょう。

塩崎



部室の片付け

投稿者：平井 幹男 投稿日：2013年9月10日(火)08時46分10秒

前に大森君が投稿していた記事の続報ですが、部室が無くなる事への投稿の中で机への思い出が先輩、後輩を通じて一番強い事を感じ、大森、山本君の両名によって大雨の中、天板が運び出されました。二人の活躍を無駄にせぬよう、今、執行部ではこれを90周年の記念品等にできぬかと考えております。良いアイデアをお持ちの方、どしどし投稿おねがいします。

シンガポールの最高峰

投稿者：柏 敏明 投稿日：2013年9月9日(月)22時36分16秒

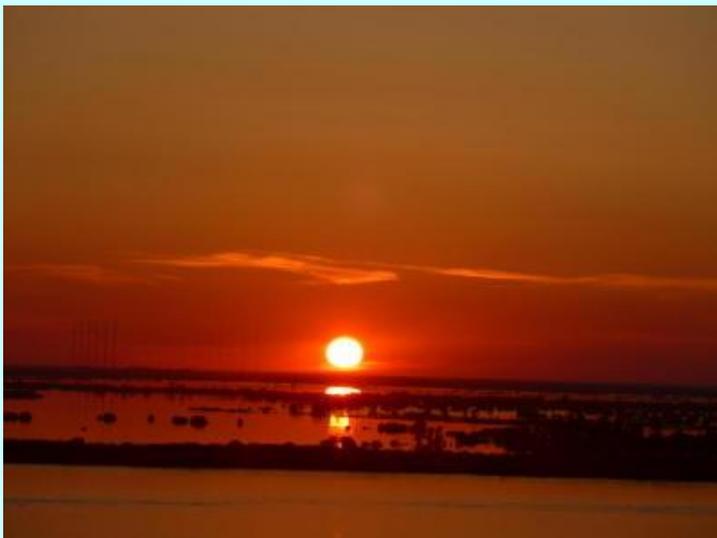
部室の片付け、ご苦労様でした。コンパでおでんの竹輪やこんにゃくが飛び交っていたのを思い出しました。シンガポールに長期滞在している娘夫婦の所へ先月23日から来ています。先日、シンガポールの最高峰に登ってきました。Bukit Timah Nature Reserve にあり、ビジターセンターから熱帯雨林の中、幅2m位の結構急なアスファルト道を登ること、20分、カニクイ猿一家の出迎えを受けたりしながら、遂に単独でシンガポールの最高峰 bukit Timah Hill の頂上に立つことが出来ました。標高163.63m。視界は木々に阻まれてよくありませんでした。登山道は、赤、黄、青、緑とコースによって、標識が色分けされており迷うことなく登ることが出来ます。登りは、初めてでしたので最短コースを取りましたが、降り是最長コースを取った所、出だしと一般道に戻る所が数百段と云う階段。道も狭い地道、前日の雨でじゅるんだ道を滑らないように慎重に歩き、汗だくでやっと一般道に戻ることが出来ました。最短コースは家族連れも多く、のんびり歩けましたが、降りには行き交う人も疎ら、登りは20分だったのに、降りは30分も掛かって無事にビジターセンターに戻ってきました。距離は短かったですが、熱帯気分を味わえた一日でした。21日に帰国する予定です。

シベリア2

投稿者：塩崎将美 投稿日：2013年9月9日(月)19時44分32秒

今日は午前中は夜行便の疲れをとるため休養、午後はハバロフスク市内観光。
晩飯を終えてホテルに帰るとちょうど太陽がアムール川の向こうの地平線に沈む所、
夕日が綺麗でした。

塩崎



シベリア

投稿者：塩崎将美 投稿日：2013年9月9日(月)06時03分19秒

ハバロフスクに居ます。
シベリア鉄道で紅葉を見ながらバイカル湖を眺めながら二泊三日の旅を楽しみました。
湖畔のコテージでノンビリ二泊。名物のオームリを堪能しました。
最後の2日間は雨、仲間に約一名雨男が居られるせいか？



部室の片付け

投稿者：平井 幹男 投稿日：2013年 9月 6日(金)08時 32分 24秒

ご報告

9月5日

谷君のおかげで最後に残されたクライミングボードを運び出し、いよいよ部室の片付けが終了しました。悲しいですがこれも一つの時代の節目かもしれません。以上簡単ですがご報告まで。

映画「オン・ザ・ロード」

投稿者：越田和男 投稿日：2013年 9月 1日(日)11時 42分 34秒

60年近く前のアメリカのベストセラーの映画化。恥ずかしながら、著者ジャック・ケルアックの名前も勿論、訳書が邦題「路上」となって日本でもロングセラーになっていたことも、数年前に雨宮さんから勧められるまで知らなかった。雨さんにいわれて直ぐに買って読んだ河出文庫版は既に41刷。1940年代後半のアメリカの若者がアメリカ全土を放浪する様を描いた自伝的長編。まさに私の好みにピッタリだった。

映画の広告に「『この本は僕の人生を変えてしまった』—ボブ・ディラン」とある。

映画評は日経、朝日ともに30日夕刊にあり。監督は、チエ・ゲバラの放浪物語「モーターサイクル・ダイアリーズ」のウォルター・サレス。先週封切られたが、まだ観ていないし、2週間ばかり旅行で留守にするので、観るのはその後までおあずけだ。ロード・ムービーの大ファンとしては見逃すわけにはいかないと思っている。最近小便が近くなって2時間を越える映画は苦手なのだが、まあ我慢するか。山岳部の人には多分こんな映画は好きだろうと、勝手に思い込んで紹介した次第。

部室

投稿者：越田和男 投稿日：2013年8月30日(金)23時13分4秒

部室明け渡しに立ち会われ、整理にご協力いただいた諸兄に厚く御礼申し上げます。

山岳部の部室はほんとに居心地のよいところでした。冬は倉庫からちよろまかしてきたストーブに堂々と石炭をくべてひねもすだべったりして。

さらに思い出すのは、山岳部以外の人たちで結構山岳部の部室を愛用されていた方々の存在があります。主に私より上の学年の方々だったのですが、ラグビー部、アメリカンフットボール部、鉄道同好会などの方々が入り浸っておられ、それはそれでなかなかいい雰囲気だったのです。これを利用する学生が居ないなんて信じがたいことです。

阿部さんへ (追加記入ちょいちょい)

投稿者：大森雅宏 投稿日：2013年8月27日(火)23時41分27秒

無くなるとなると何か惜しくなるのは人情ですね。

私もそのクチです。

私たちの頃はあの机と入り口側にあたらしい会議机2つを向き合わせて、長い島状態で使っていました。

75周年号だったかに、田辺がちゃんが一人で新制高校の部室に(多分西校舎)あの机を担いで運ばれた、と記録されていたと思います。

あれ、重いですね。

多分旧制高校の初期の時代からあったんじゃないかと思います。

当日一番奥、窓側の壁沿いに置いてありました。

天板1枚分はがしてきて、小机か何か作ろうかとも思ったのですが、まあ形のあるものはいつかなくなるのも仕方ないか、と帰ってきました。

--追加記入--

形あるものはいつかなくなる、のはリクツですが、凡夫の私としてはちょっと惜しいなあと思いました。

何とかならないか。ちょっと惜しい。

そこで、閉鎖ぎりぎりでしたが部室に行き、チームハゲタカ・またはグループドハイエナで、机の天板回収してきました。

皆さんの思い出の品だと思いますので、ハガキか名刺サイズにカットしてでも何かの形でお手元に届けられたいなあと思っています。

もうちょっとシャレたカタチのアイデアあったら教えてください。

添付写真 1枚目は全体の姿 / 2枚目は回収した天板 ・ 運搬の都合で2ツ割りに、端の割れなどでカットした部分があるので長さがそろっていません



部室の明け渡しを知って

投稿者：阿部康彦 投稿日：2013年8月27日(火)21時03分7秒

吉川先輩の連絡で部室が明け渡された事を知りました。私が入部した20年ほど前は歴代の先輩方々が置いていかれた多くの装備や書籍、落書きしたりしたものもそのまま残っており、部室が一つの文化遺産の域に達していたといっても過言ではなかったと思います。特に木製のテーブルについては、20年前に聴講生で甲南大学に通われていた徳末 大先輩（当時70歳位であられたと思います）が「この机まだ使ごうてんのか！これ僕が学生のころからあったと思うわ」とポツリと仰られた事が衝撃的でした。ただのボロ机と思っていたらそんなに古い物だったとは、それ以来諸先輩方もこのテーブルを使って色々な計画を練られたり道具の手入れをされたのだと思うと、何ともありがたい机だなあと思い大切に使用しておりました。あの机も一緒に壊されてし

まったのでしょうか？ 残念です。

追伸：部室の整理にご尽力下さいました、諸先輩皆様誠にありがとうございました。

Re: 部室の写真 その3 (おしまい)

投稿者：松成 投稿日：2013年8月26日(月)23時54分37秒

久しぶりにサイトにアクセスしました。

現在、仙台在住で出張で月曜から金曜まで福島で仕事してます。

部室が明け渡しとはびっくりです。

テスト勉強したり、飲んだくれたりで学生生活が部室を起点にして回っていたので思い出は沢山あり、非常に残念です。

ところで、拾った冷蔵庫の電源などを電気に詳しい奴（名前は伏せますが）に拝借できるようにしていたのですが、処理の方は大丈夫だったでしょうか？
もし、お手数をお掛けしたら、申し訳ございません。

モンゴル

投稿者：塩崎将美 投稿日：2013年8月26日(月)23時36分45秒

今日400kを八時間走ってウランバートルに帰ってきました。

3日ぶりのシャワーでスッキリしました。

山には登りませんでしたが四時間程のハイキングをしました。

写真の唐松林を稜線まで登り下りてきただけ。後ろのハゲた頂上まではとてもとても。林は意外と明るく多分牛の踏み後を辿ると歩きやすかったです。





Re: 部室の写真 その3 (おしまい)

投稿者：塩崎 投稿日：2013年8月26日(月)23時04分20秒

部室の整理ご苦労様でした。

私は今モンゴルです。

久しぶりにネット繋がってます。

川野君から写真がメールで届いてました。

いろいろやってみたら何とかかなりいました。



部室の写真 その3 (おしまい)

投稿者：大森雅宏 投稿日：2013年8月24日(土)18時14分43秒

1枚まぎれていたプリント、添付します。

昭和44年5月25日のゴム印があります。

一番若い方が井上さん、一番年配が香月さん。(それでも60半ばですか)

私、割と皆さんのお顔がわかるほうだと思っていますが、自信のあるのは16名。

撮影場所は学生会館の東の階段ですね。



部室の写真 その2

投稿者：大森雅宏 投稿日：2013年8月24日(土)17時52分26秒

回収したい品物はたくさんありましたが、保管場所などの関係でほとんどの書籍は処分することになります。合冊して製本した昭和初期の印刷物は預かっています。もっとも、中をよく見ず「山旅 第2号 昭和5年 甲南大学山岳部」というのも回収してきたのですが、昭和5年に大学山岳部はおかしい。中身は京都府立医科大学山岳部部報でした。（「甲南高等学校山岳部」の朱印があります）

その他写真の袋がありましたので回収。プリントはかさばるのでネガだけ。
適当抜き取りで3枚添付します。

1 馬場島荘の前で

左から 早川・泉(露出不良で顔不明)・大森・柴田・西村・渋谷・松下・田口 ……だと思う
昭和49年11月か12月

2 テントから顔を出す泉

ほかのコマには大庭・豆田・川口・村岸らが写っているので昭和50年から51年と思います。場所思い出せません。

3 種池小屋の前で

昭和54・55年頃でしょうか。左から、西岡・今井・山本?・八木・大勝

昭和50年代になるとカラーフィルムがほとんどになります。

ネガは30本あまりですが、36枚撮りでハーフサイズもありますから、枚数はだいぶあります。

プリントはほとんど確認せず残してきましたが、今見たら 1 枚まぎれていました。
スキャナで取り込んで別に掲示します。

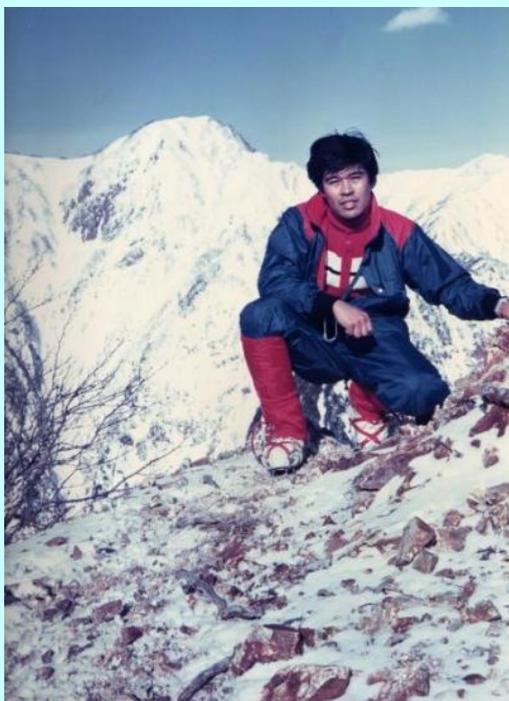


部室の写真 その1

投稿者：大森雅宏 投稿日：2013年8月24日(土)17時26分21秒

部室の回収作業、お疲れ様でした。
福永さんの写真、スキャナで取り込みましたので添付します。

- 1 福永隆一氏 在学中 小窓尾根
- 2 森 静也氏 在学中 (不確かですが、列車事故と聞いた覚えがあります)
- 3 藪内昭博氏 卒業後 鹿島槍 社会人パーティで



Re: 淋しいお知らせ

投稿者：越田和男 投稿日：2013年8月23日(金)20時43分48秒

> [No.1886\[元記事へ\]](#)

平井 幹男さんへのお返事です。

> 大学の学生部から、いよいよ部室の整理と明け渡しの依頼がありました。8月24日土曜日に行って来ます。部室に思い出以外の忘れものが有る方はお知らせ下さい。又一つ青春が
> セピア色を増しました。

いよいよ明日は部室の明け渡しですね。

もう50年も前のことで、今更思い浮かびませんが、他の運動部の部室と比べ、独特の（知的な？）雰囲気があったような気がしてます。壁に故福永隆一先輩の写真があったのを思い出します。山岳会で何らかの方法で保管しては、と思いますが、如何でしょうか。外観、室内の写真とともに、HPにアーカイブを作るとか。

田口さんの論述と緒方さんの卒論

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2013年8月21日(水)08時18分14秒

緒方女史が学生時代に書いたとは、この方の物の考え方、行動が余りにも男性的で驚き。見ごたえのある番組でした。田口さんの当該論述を女史に見せて、感想を聞きたいものです。P S ; 字体の崩れが何か所もあり、拡大鏡で読んでます。

TVの緒方貞子女史の番組を見て

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2013年8月21日(水)08時00分26秒

先日放映のこの番組を興味深く見ました。""満州事変から太平洋戦争に至るまでの軍の暴走に何故歯止めを掛けられなかったか""これが卒論の内容だった模様。関連して、先般この掲示板に書き込んだ田口さんの朝日新聞掲載文を読み直しました。以下当該新聞よりの転載

満州事変以来日本の針路を、．．．来た多くの人々が今日安閑としている様を見ればその無責任な態度に憤激を感じるであろう。こうした多くの汚れが拭い去られてしまはねば日本国民の払わされた余りにも大きな犠牲の意義が薄らぐであろう 新政府は敗戦の責任を語って(軍官民の他に国民道徳の退廃にも責任の一部がある)となしたある軍人は(軍部が政治に出てこなければならなかったのは国民、．．．低下していたからだ)と云っている 日本がどうして戦争をしたのか又その指導性をとったのは誰であるかという根本的な問いに対して答えていない これは今国民が一番に知らねばならぬ問題である

注：上記 ．．． 部分は事態が崩れていたり、小生の漢字知識の不足で書けません。

Re: 写真のUP

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2013年8月20日(火)20時40分53秒

管理人さんへのお返事です。

- > 浪川君から写真が投稿されました。
- > アルバムにUPしました

滝の音が聞こえてきそうな場面や、シャワークライムの写真、暑さを忘れませぬ。爆睡の様子も面白し。これで、イワナが釣れていたら最高だったでしょう。

写真のUP

投稿者：管理人 投稿日：2013年8月19日(月)20時23分54秒

浪川君から写真が投稿されました。
アルバムにUPしました

Re: 写真の投稿

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2013年8月19日(月)16時52分46秒

管理人さんへのお返事です。

- > 山本恵昭君から写真が届きました。
- > アルバムにUPしました。

早速、写真集を楽しませて貰って、10年ほど前の愛知川／神崎川の遡行を思い出しました。D兄もまだまだ若いですね、あの時とあまり変わってない！

写真の投稿

投稿者：管理人 投稿日：2013年8月19日(月)09時22分49秒

山本恵昭君から写真が届きました。
アルバムにUPしました。

ソ連登山家の一人

投稿者：雨宮 宏光 投稿日：2013年8月18日(日)23時58分32秒

セルゲイ・ベルシヨフ（1948～ウクライナ生）

1984年日ソ・スポーツ交流で来日したベルシヨフは、道場の百丈岩で岩登りをし富士山にも登って帰国した。

これは観光旅行のついでの遊びで招待を受けた、日本山岳協会へのサービスでした。

30年近くも前の話でこのような「お祭り」があったのを知る人は少ないでしょう。

しかし、ベルシヨフの登山軌跡を辿る時、その超人ぶりに驚嘆します。

彼は1971年23歳で岸壁登攀部門のスポーツ・マスターとなった岩登りの達人です。

1982年エベレスト南西壁遠征隊員に選ばれ、夜間登攀を敢行して22時30分に登頂。

仲間の救出から 8000m以上の高所で 36 時間滞在したという。
更なる快挙は 1989 年カンチェンジュンガ縦走で登攀隊長だったベルショフは、
5 月 1 日、ヤルン・カン、主峰、中央峰、南峰の頂上にたち 8000m 峰 4 峰の縦走に成功している。
1990 年ベルショフら二人は、前の年にメスナーが敗退、ククチカが墜死した難攻不落のローツ工南壁に挑み、
別ルートから完登した。
ソ連邦で鍛えられたアルピニズムが、この三つの遠征によってヒマラヤで、
その力量を証明したのです。
今年でベルショフは 66 歳、山で死んだとは聞いていませんので、まだ元気かもしれません。

信濃俣河内 沢登り

投稿者：山本恵昭 投稿日：2013 年 8 月 18 日(日)01 時 19 分 53 秒

今夜は全身筋肉痛の体に鞭を打って、サザンオールスターズのコンサートに行ってきました。といっても、場外タダ聴きです。散歩コースである総合運動公園の滑り台の上に腰掛けて、姿は見えませんが臨場感と花火を楽しみました。

なぜ、筋肉痛なのか。それは、年齢も省みず南アルプス信濃俣河内でどっぷりと沢登りを楽しんで、今朝帰ってきたからです。メンバーは昨年の赤石沢と同じ、浪川さん、大森さん、私の 3 名。

8 月 1 3 日夜発で 1 4 日畑薙ダムへ。林道を行ける所まで車で入り、7 : 3 0 いよいよ出発。吊り橋の横から降りて、水の枯れた広い河原をひたすら歩く。やがて水流も現れ、渡渉を繰り返し快調に進む。

このペースでは、午前中にピバーク予定地についてしまうと思ったのは、大きな勘違い。降り立った河原は、2 5 0 0 0 分の 1 の地図で吊り橋が書いてある所と思い込んでいたが、実はもっと手前の地図でダムの水が書いてある部分だった。その後は地形を希望的観測で読み違え、もう三俣かと思った所はカバ沢出合であった。三俣に 1 2 : 3 0 着、ここでやっと正しい現在位置に気づく。釣りでもしながらのんびり行けば良いかという気持ちだが、ちょっとあせってペースアップとなる。第 1 ゴルジュを越えて、折立沢出合小屋の下の台地にテントを張る 1 5 : 0 0。

早速イワナを狙うが、釣り荒れているのか、ミズでも毛鉤でも全く当たり無し。先行 4 人パーティは 1 尾収獲したらしい。イワナ塩焼きの代わりに、浪川さん差し入れのベーコンを焚火であぶって食べる。美味しい。夜遅くまで焚火を楽しむ。

1 5 日先行パーティに先を譲り、ゆっくり 7 : 3 0 に出発するが、第 2 ゴルジュ出口で追いつく。4 m ほどの滝を越すのに足場が無く苦労している。残置ハーケンにつないだシュリングを使って振り子の要領で下がり、さらに斜め上からお助けロープで引き上げている。後続の我々も、同じように引き上げてくれるというので、お言葉に甘えることにする。

第 3 ゴルジュはロープを出して右岸を高巻き。沢が開けて西沢出合 1 1 : 3 0。先行パーティは本流の春木沢に行くそうである。我々は西沢に入る。暗くて陰気な谷である。小滝をいくつも越えていくと、滑滝 2 0 m が現れる。左岸を直登しようと試みるが、中段から上が滑りやすく諦める。左岸のルンゼをつめて、高巻く。途中、雷が鳴り響き大雨となる。次の 3 0 m 滝も左岸のガレ沢を登り、シカの足跡をたどって高巻きをする。源流部はコケに覆われて美しい。2100m 付近の二俣の台地にテントを張る 1 5 : 3 0。雨の中、浪川さんが執念で焚火をおこし、濡れたものを乾かす。

1 6 日 6 : 1 5 発。沢は森の中のシダ原となり、やがて三吉平近くの登山道に合流する 6 : 4 5。靴をトレッキングシューズに履き替える。

浪川さんの沢靴の底がほとんど剥がれかかっているのので、イザルヶ岳南東尾根の踏跡をたどって三俣へ降り立ち、沢通しに下山する予定を変更する。登山道を仁田岳まで行き、そこから踏跡をたどって、水の枯れた

河原へ降りることにする。

仁田岳に10:15着。聖岳光岳の主稜線から離れているのでめったに来る機会はないだろうが、南アルプス南部の絶好の展望台。ここからの南へ延びる尾根を下る。最初はハイマツなどの藪こぎで苦勞するが、樹林帯に入ると獣道が沢山有り、それに導かれていく。地図と磁石、GPSを駆使して、2243m、1876m、1503mと小ピークと傾斜の緩そうな尾根をつないでいく。途中で大森さんがクマを発見、幸い向こうが逃げしてくれる。最後は出島のような地形のコルを経て、狙い通りの河原に降り立つ16:30。足取り重く吊り橋の横の道を登り、林道をたどると駐車地点に着いた17:30。

18:30で入浴時刻が終わった白樺荘にお願いして、何とか温泉に入れてもらう。もう食事時刻も終わっているとのこと。2時間ひたすら車を走らせ、島田町のファミリーレストランで遅い夕食にありついた。浪川さんにご馳走になる。

信濃俣河内は、昨年の赤石沢に比べるとグレードが低いということで、少し気楽な気持ちで入りました。しかし、それなりに充実感のある沢でした。特に西沢の滝の連続と美しい源流部が強く印象に残っています。イワナが釣れなかったのが残念。





南アルプスの沢登り

投稿者：大森雅宏 投稿日：2013年8月18日(日)00時34分31秒

8/13夜中に神戸を出て、14・15・16と南アルプスの信濃俣河内西俣に、山本リーダーのもと浪川さん大森で行ってきました。昨年の赤石沢より少し南側の谷です。

山本リーダーと浪川さんは好調でしたが、私またバテました。

バテたので写真はほとんど幕場のものだけ。かろうじて行動中の1枚と1日目2日目のテント場風景を貼り付けます。詳細は山本リーダーの書き込みをお待ちください。

しんどかったですが、私のしんどいのはカラダだけ。

リーダーはカラダもエライシルートどりやら天候判断やらいろいろココロのエラさもあります。

毎回お世話になって、大変感謝しております。





朝日新聞一面に載った田口二郎先輩の論述

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2013年8月17日(土)16時02分13秒

---昭和20年9月16日、チュウリツヒ田口特派員---

『戦争責任と国民の態度。軍部右翼の処分、封建勢力の存続を許すな』

11日マック アーサー 司令官から発せられた東條内閣閣僚その他戦争犯罪者と目される者の逮捕命令は戦争犯罪人処分問題の第一着手として各方面で大いに注目されている 戦争犯罪人捕縛問題は戦争責任と表と裏の関係にあること改めていふべきでもない 又この問題追及の如何は新しい日本の建設にも響く事であるから自由な新日本建設の支柱たるべき日本国民は この問題に対しては真面目な冷静な判断とをもって臨まねばならない--中略-- 9月11日ニューヨーク、ヘラルドトリビューンの日本問題を論じた社説中に(米国はその目的遂行のために日本政府代表を動かすことは良いが、これを日本に残っている少数の封建的勢力存続のための拠点とすることは許してならない)と論じているのは熟読に値するであろう

当該9月18日の新聞の写しを、仙吉(同期の平井吉夫)から、以前貰っていました。古いので字体が崩れていたりして、読みずらく、未だ完読出来てませんが、そのほんの一部を書き込みました。

アクティブな後輩にエール

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2013年8月15日(木)07時05分5秒

大森／山本／川野の諸兄、元気にハードな山をやっているようで、頼もしいかぎり。小生、貴兄達のこの年代では、とてもこのような山は無理で、せいぜい家内とツア-登山に参加の時代でした。これからも慎重に楽しんでください。

明神岳主稜 敗退

投稿者：川野幸彦 投稿日：2013年8月14日(水)22時12分18秒

ご無沙汰です。皆さん！お元気ですか？

8／10～11で穂高連峰の明神岳に行きましたが敗退しました。以下、報告です。

8／10（土）晴れ

新大阪を6：00発の新幹線で出発。名古屋でしなのに乗り換え、上高地には11：30ごろに到着した。水を駐在所で4L補給し、重たいザックを背負い出発。この重荷に不安になった。観光客の多さにうんざりしながら歩き出す。暑さも加わり辛い。岳沢方面に向かい、7番標識から尾根に取りつく。急な尾根の明瞭な踏み跡をたどる。2時間ほど登ったところで足がすり抜けなくなった。丁度、コル状の平坦地（2300m付近）がありテントを張った。この状態では、明日は無理だと思い、早々に退却を決めた。夜は暇で何もすることがなく、大森さん・山本・今井に電話した。電波の状態が良好でアンテナは3本立っていた。大森さんと山本は連休の後半に南アルプスに沢登りに行くという。今井は朝から一杯飲んでいらしい。こんな所から皆さんの声が聞けて不思議な感じがした。夜中にはテントの周りをケモノがうろついているらしく、藪をかき分ける音がして気味が悪かった。

8／11（日）快晴

鳥の鳴き声で目が覚めた。寒い朝である。昨夜はシュラフカバーと軽羽毛服では寒かった。ゆっくりと用意をして、下山にかかる。途中、3人組と単独の人が登ってきた。皆さん元気である。2時間ほどで上高地に戻り帰宅した。

（付）歳のせいだろうか？今回ほど体力不足を感じたには初めてだった。トレーニングは行ったが活かされなかった。バテた。また、テントに登攀具・水と重荷だった。もうテントを背負ってのバリエーションルートは独りでは無理かもしれない。来年は、大森さんと山本と3人で5月に登るぞと勝手に思い帰路についた。

白馬・雪倉・朝日

投稿者：山本恵昭 投稿日：2013年8月11日(日)02時29分16秒

8月4日から6日で、妻と蓮華温泉から白馬岳、雪倉岳、朝日岳と周回してきました。

4日蓮華温泉から白馬大池を経て白馬岳のテント場へ。小屋にもテント場にも、老若男女、沢山の登山者がいて驚きである。

5日再び白馬岳に登り返し、三国境から雪倉方面へ向かう。ここからは喧騒は無くなり静かな山に。

前から来た2名に挨拶をすると「山本さんではないですか」と声をかけられる。帽子を脱いだ顔を良く見ると国立登山研修所の東秀訓さんである。学生時代は奥鐘で、社会人になってからは登山研修所で、今回は雪倉岳で、不思議と彼とは忘れた頃にばつたりと出会う。彼は、三浦雄一郎氏のエベレスト登頂をサポートしたりするプロの登山家であるが、その穏やかな人柄に親近感を覚える。今回も「休みが取れたので、今まで来た事が無かった朝日岳へ来て見ようかと思って」と、私と全く同じ思考パターンでお互い笑ってしまう。

小桜ヶ原付近は小さな湿原が続き、お花畑だらけである。朝日の水平道は結構アップダウンがあり体にこた

えるが、何とか朝日小屋テント場に。あまりの暑さに小屋でビール2本を買ってがぶ飲みする。

6日朝日岳で、単独行の青年から「友人の結婚式のお祝い写真に皆さん一緒に入れてほしい」と。山頂にいた15人近くが集まって、お祝いメッセージの巻き紙を持って記念写真を撮影。見知らぬ者同士がなんか和やかな雰囲気になる。

朝日岳からは、お花畑の中をひたすら下る。次々と現れる水場の水が美味しい。花園三角点付近はまさしく花園である。そこからは樹林帯となり、暑い中、最後上り返して蓮華温泉へたどり着く。もう露天風呂まで登る気力は無く、屋内風呂で汗を流す。

今年は残雪が多かったためか、高山植物の花はちょうど今が見ごろのようでいっせいに咲き誇っていました。お花畑の中の散歩のつもりでしたが、晴れていたと思ったら急に雨が降り出す天候不順の中、ロングコースでしんどい登山でした。



投稿者：平井 幹男 投稿日：2013年8月9日(金)08時07分36秒

大学の学生部から、いよいよ部室の整理と明け渡しの依頼がありました。8月24日土曜日に行って来ます。部室に思い出以外の忘れものが有る方はお知らせ下さい。又一つ青春がセピア色を増しました。

淋しいお知らせ

投稿者：平井 幹男 投稿日：2013年8月9日(金)08時01分31秒

大学の学生部より部室の整理と明け渡しの依頼がありました。8月24日土曜日に行って来ます。部室に思い出以外の忘れものがある方はお知らせ下さい。又一つ、青春がセピア色を増しました。

山嶽寮 原稿

投稿者：大森雅宏 投稿日：2013年8月8日(木)21時45分59秒

5月中ごろにお知らせとお願いをしました山嶽寮の原稿のことです。

7月で一応原稿の締め切りをしました。

おかげさまで今年も読み応えの有る原稿をたくさんいただいて、有難いこととお礼申し上げます。

一応締め切りしましたが、まだ間に合うなら、というかけこみ原稿もしばらくは受付いたします。

なお、いただく時期と分量によっては編集の都合で来年回しにお願いすることがありますので、その点ご了解ください。

締め切ったと書きましたが、お約束いただいているのに原稿がまだの方。

あなたは別です。

いただくまでしっかりお待ちしますので、ヨロシク。

ね、西濱君とほかの皆様。

原稿は masa76@amil.plala.or.jp まで。

◎を@マークに置き換えてください。上の封筒マークからもつながります。

大森

今夜のTV番組：生きる

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2013年8月7日(水)12時06分2秒

TBS系で9.00から放映されます。主人公島田沖縄県知事を大阪駅で見送った時の模様に関連して毎日新聞の記事に(2008年一月八日)、KACの山岡静三郎先輩の事が詳しく記されています。山岡さんは昭和9年/10年時に、甲南高校山岳部の再建に大きな役割を果たされています。当該記事の一部；”島田は列車の展望デッキに立ち、手を振った、山岡さんは涙が止まらず、うつむくと手にあ

た新聞に音を立てて落ちたという。””

Re:「中井久夫さんの本」のシリウマ

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2013年8月6日(火)06時22分54秒

越田和男さんへのお返事です。

中井久夫先生は甲南高校が新制に成り第二回目の卒業生ヤネ。この学年の先輩は将に文武両道の人多し。野球部の広井さんは慶応に進み、かの巨人のEースで監督も務めた藤田と慶応でEースの座を競ったが、肩を壊してしまった。私事になりますが、小生が三井物産勤務時に、偶々輸出商内の手ほどきをしてくれたU氏も中井先生とクラスメイトで共に京大へ。このU氏はすごくシャープでスマートな方でした。甲南の後輩という事で、どんくさい小生を懲りずに指導してくれました。感謝！（惜しくも9年前に御逝去）

Re:「中井久夫さんの本」のシリウマ

投稿者：越田和男 投稿日：2013年8月4日(日)16時03分59秒

ついでに、とは一寸失礼かも思いつつ、今朝の朝日新聞の読書欄の書評を紹介しておきます。

中井久夫著『昭和を送る』みすず書房 3150円

評者は大谷大学（哲学）の鷺田清一教授。文頭と文末のみ下記しておきます。

「時代の流れにふと、えもいわれぬ違和を感じる時、あの人ならどう受けとめるだろうかとその発言にふれたくなる、そんな書き手がだれにも数人あるのではないか。わたしにとってはずっと、中井久夫がその一人であった。・・・（中略）・・・昭和という時代にもろもろの精神にかかった凄まじく（圧力）がまるまるで鎮魂歌のように綴られていて、その言葉の重量に圧倒される。

社会評論でも随想でもないこの独自のエッセイ集、「エッセイ」の原義どおり、不二の「臨床眼」による〈試み〉の記録である。」

Re:「中井久夫さんの本」のシリウマ

投稿者：山本恵昭 投稿日：2013年7月21日(日)10時13分6秒

> [No.1879\[元記事へ\]](#)

以前、大森さんに中井先生のお話を聞いて、「精神科医がものを書くとき」（ちくま学芸文庫）を読みました。

私の勉強不足で、精神科医サリバがどうのこうのといった部分など、よく読みこなせませんでした。

でも、統合失調症問答のところ、全体としてコントロールさせている脳のそれぞれの機能が、暴走を始めよとするときの安全装置として精神障害をみとみると、目のうろこがはがれるように整理できたように思います。

以下、一部抜粋です。

「前頭葉なり何なりが暴走しようとするので、血液供給量を少なくして暴走を食い止めようとする安全装置が

働いている。(憶測です) 」

「鬱病でいちばん辛いのは、いちばん得意な能力がいちばん低下したと感ずること。統合失調症の発病の直前には、ふだんできたらいいなと思っている能力がぐっと出てくるように感ずられること。」

「鬱病は(前頭葉の)暴走をかなり手前で制動を掛ける、システムの火を落としている。統合失調症では、この制動が働かなくて、暴走の直前まで行ってしまふ。原子炉の暴走の直前にも規定の出力の数百倍の出力が出るそうですが、それと似た状態が現れます。」

「(その瀬戸際の状態に留まってすばらしい詩を書いたり、科学の発見をしたりすることはありませんか。) あります。実際のそうではないかという詩人や数学者もいます。」

「中井久夫さんの本」のシリウマ

投稿者：大森雅宏 投稿日：2013年7月15日(月)23時09分29秒

中井先生のお宅に山嶽寮原稿のことで伺ったことがあります。

(62号「敗戦直後の山岳部北アルプス行き」・賀茶さんや小原さんにもお口添えいただきました)

そのとき、「この本は今度発売される本ですが読んでみますか」と『樹をみつめて』をいただきました。私の理解の及ばない部分も実は多かつたのですが、特殊な観察眼と洞察力をお持ちの方と思いました。樹を見たら森がわかる、森を見たら葉が読める、そんな感ずでしょうか。

以来判らないは判らないなりに新刊が出るたび拝読しています。医書は別ですが、随筆は半分くらいは楽しく読めます。「臨床瑣談」とか「清陰星雨」とか「こんなとき私はどうして来たか」などは半分よりだいぶたくさん楽しめました。

(山本恵昭岳兄も「ちくま学芸文庫」の中井久夫コレクションを読んで、「すいすい読み進めるところもあるんですけど、手ごわいところがいっぱいあります」と言っていました。私たちのあたまが大体同じデキなんだと思います)

越田さんご紹介の日経ほか切抜きを添付します。二つ目のはみすず書房の広報紙から、最後の朝日の記事はネットに紹介されていたものからの借用です。グーグルで検索するとたくさん出てきます。

投稿者：越田和男 投稿日：2013年7月14日(日)22時29分36秒

今朝の日経の読書欄のコラム「半歩遅れの読書術」に精神科医の斎藤環氏による「中井久夫コレクション」の絶賛紹介あり。中井ファンでない方でも必読の記事です。ついでに紹介された近刊昭和天皇論「昭和を送る」も是非読んでみたくなりました。

訃報・塩野良之助様

投稿者：越田和男 投稿日：2013年7月6日(土)13時33分26秒

先日届いた同窓会誌「甲窓」の最新号の追悼欄で塩野良之助さんのお名前を見つけたので、ご報告方々私の存じ上げてる塩野さんにつきご紹介させていただきます。

塩野さんは旧制18回理科（戦時体制で昭和17年9月繰上げ卒業）から阪大理学部に進学。物理学者として、永く米国ピッツバーグ大学の教授をなさっていました。確か昭和30年代の海外への頭脳流出例として、そのお名前を何かの雑誌で拝見した記憶があります。

古い山岳部の「時報」では、終戦後の一時期の山岳会の催しに顔を出されていたとの記録もありましたし、阪大OBの大島輝夫さんからお聞きした話では、戦後の日本山岳会の関西支部の復活に際して、十人からなる委員会の委員としてご尽力されていたとのことでした。

私は、今から20数年前、ピッツバーグに出張の折、同期の茂木光隆さんに電話番号を教えてください、ご自宅に電話を入れてお話をさせていただいたことがあります。なかなかお出にならないのでお留守かと思い、諦めかけたタイミングに、庭の手入れ中だったとかで、息を切らせてお出になりました。山岳部のことを大変懐かしがられ、お会いしたいとお誘いでしたが時間がとれず、次回に是非とって失礼したのを思い出します。ご夫婦で日本からの留学生のお世話などなさっていたようです。

また、数年前には、大島輝夫さんが、ピッツバーグで塩野さんにお会いになり、甲南山岳部の事をこのほか懐かしがっておられた由、JACのルームでお聞きしたこともあります。この時、「山嶽寮」を是非送ってあげてはとのことでもあったので、井上君に頼んでバックナンバー数冊を送ってもらったのでした。

弟さんの池田（旧姓塩野）喜久夫さん（旧制21回理科）も山岳部で、以前大阪の梅田でトリス・バーをやって居られた時には小川守正さん、川崎厚二さんら色んな方が出入りされてましたね。甲南山岳部の同期の方々はお元気だった茂木さんを始め、津田昌男さん、国府三郎さんも既にお亡くなりになっており寂しき限りです。ご冥福をお祈りする次第です。

月山

投稿者：福田信三 投稿日：2013年7月3日(水)16時04分58秒

越田さん

そうは見えませんがねえ。

越田さんの方が姿勢がいいのでまだまだという感じですよ

いい汗をかかれたようですね

Re: 月山

投稿者：越田和男 投稿日：2013年7月3日(水)09時35分31秒

> [No.1874\[元記事へ\]](#)

福田信三さんへのお返事です。

"後方のお独りの方"はよそのオジサンでした。

少なくとも私よりお元気でした。

月山

投稿者：福田信三 投稿日：2013年7月2日(火)16時00分47秒

越田さん

背景がすっきりして素晴らしいですねえ。

去年登った大雪の黒岳を思い出します。

"月山・・"の文字は足元の方が良いのでは?? (失礼しました)

緑と残雪のコントラスト風景は初夏の山の美景だなあ。

乾杯、熟年登山の御二方へ

しかし、後方のお独りの方気になります (小屋まで行けるかなあ???)

月山

投稿者：越田和男 投稿日：2013年6月30日(日)18時57分26秒

梅雨時は東北に限ると、山形に出かけました。雨男の私ですが、うまく晴れ渡り、例年より多い残雪と高山植物の花々を楽しむことができました。とはいえ、長い雪渓の登りにはよたよたでした。



テロ

投稿者：雨宮 宏光 投稿日：2013年6月25日(火)23時23分8秒

ナンガ・パルバート北面のベースキャンプ・フェアリーメドロー (3300m) でテロ発生。

中国人の饒剣峰、楊春風とウクライナの登山家が死亡しました。

中国人の二人は普通の会社員で8000米10座の登頂者でした。

このツアーはナジル・サビル旅行社が世話しており、パキスタンの北部は安全とされていたのです。

パキスタンの治安が今のままではカラコルムの 8000m は危険で、

1 4 座狙いの登山家はしり込みしてるに違いない。

Re: 夢のルートを逆算せよ

投稿者：越田和男 投稿日：2013年6月22日(土)22時41分59秒

> [No.1870\[元記事へ\]](#)

雨さん

山田淳なる人物に興味をおぼえていました。灘中ー灘高ー東大ーマツキンゼーなる経歴でプロの山岳ガイド+登山用具のレンタルなど、ちょっと今までの感覚では計り知れない能力、性格の持ち主なのでしょう。彼の本はまだ読んでませんが、今の30代には石川直樹、角幡唯介など、いいアウトドア派の書き手がありますね。大学山岳部の出身者は居りませんけど。

夢のルートを逆算せよ

投稿者：雨宮 宏光 投稿日：2013年6月21日(金)15時01分42秒

この表題の本の著者は、山田 淳（1979～）という人物です。彼についてはネットで検索してください。中学一年の屋久島から大学在学中のエベレストまでを時系列で追って七章で構成されている。

山田は二十三歳でエベレストに登頂し当時の最年少七大陸最高峰登頂を達成しています。

ジュンク堂の山岳図書コーナーにあったこの書の内容は、登頂記でも登山指南書でもありません。山の世界への問題提起書です。プロと称する登山家が登山だけでは食べていけない三つの理由を書いています。

- 一 登山業界自体が小さく登山がマイナーなスポーツなためトッププレイヤーを養うだけの度量がない。
- 二 登山活動が観戦できないため興行とならない。
- 三 高額な入山料のため仮にスポンサーがついても、それは登山のために使われプレイヤーの生活にまで回らない。

彼はこの状況を変えるため、普通の人たちに自然との接点を増やし、マイナーなスポーツである登山にもっと大衆を誘い込もう。登山愛好者が増えれば登山業界の経済規模が大きくなる、という発想から「株」フィールド&マウンテン（登山用具レンタル）を起業。キャバクラの女性が富士山に登りたいと登山用具を借りに来た。富士山だけは登っておくという多くの人たちに、年に数回でも良いから他の山に向かわせる努力が必要とっています。

起業の動機を次のように述べています。

「私が登山で起業しているのは、登山が好きだからでも何でもありません。登山が得意で得意なことを事業にするのが一番社会に貢献できているからです」

原理主義のようなアルピニズム信奉者だけでは登山愛好者は増えません。

登山愛好者の層を広げていく、という彼の提言に共感します。

本のサブタイトルは～

マッキンゼーを辞めてまで、ひとりでアドベンチャーを始めた男の七つの成功ルール

(株) マガジンハウス 2013年5月初版 189頁 ¥1365

スズコキャンプ

投稿者：武田雄三 投稿日：2013年6月10日(月)22時40分46秒

今年も心待ちにしていた山本君指導のスズコキャンプに参加しました。

(と言っても小生にとってはハード過ぎるのでスズコ取りは遠慮)

何時もの様に天滝の旧休憩所でワイワイ・ガヤガヤ、山本シェフの手になるスズコ料理や山菜料理の数々を肴に楽し～い一晩でした。

参加9名の平均年齢60代後半、来年からはもっと多くの仲間に参加して貰い、集会場所に困る程になればイノニナー。

山本君アリガトウ、ご馳走様でした。

スズコキャンプ

投稿者：ポンポン山の山口 投稿日：2013年6月10日(月)18時53分38秒

去年に続いて「スズコ」キャンプに参加させていただきました。去年は雨上がりで泥と密集した藪の中に入るのに腰が引けて…今年は気合入れて頑張りました!? 山本さんの山菜のフルコース本当に美味しくいただきました。有難う御座いました。

スズコ

投稿者：平井 幹男 投稿日：2013年6月10日(月)08時41分25秒

皆さんお疲れ様でした。

二年続きの雨のスズコ取りから一転、今年は快晴の氷ノ山となり気持ちの良い収穫登山となりました。

いつもながら、山本君には山菜取りから準備に至るまで、又大森君には様々な連絡など有難うございました。松下君の初めての参加もあり、武田さんの岩魚や、カンさん塩崎のお酒と共に山本料理長の山菜、スズコのフルコースに大いに盛り上がる宴会となりました。井上さんや塩崎さんのお友達の山口さんを含め、来年の再会を誓って9日の早朝解散となりました。本当に楽しい時間を皆さん有難うございました。

Re: スズコ

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2013年6月10日(月)06時24分51秒

塩崎将美さんへのお返事です。

- > 氷ノ山に登ってきました。
- > 駐車場から1時間40分、天気に恵まれ気持ちよく歩きました。
- > 下りには竹やぶと悪戦苦闘、根曲がりだけを探りました。

- > 夜は天滝の東屋で山菜の天麩羅やおひたしで宴会。
- >
- > 大森君、山本君、何時もの事ながらお世話になり有難うございました。

氷ノ山は一度だけ登りました。懐かしく、この時の写真など朝のはよからTRACE中。家内と霧の中を登りました。帰途、道の駅で買って飲んだ、地元の酒がうまかった。この銘柄を見て、このあたりが故郷の中学／高校の同級生の実家の関連会社の酒かな、と想ったりしたものです。

Re: スズコ

投稿者：山本恵昭 投稿日：2013年6月9日(日)21時26分12秒

- > [No.1862\[元記事へ\]](#)

スズコキャンプにご参加の皆様、お疲れ様でした。
朝夕は快適な涼しさでしたが、日中は好天に恵まれて暑いくらいでした。
スズコは沢山採れましたが、暑さのせいか虫入りが多くて残念でした。

でも、皆さんでワイワイと楽しく過ごさせていただきました。
私は睡魔に勝てず、昨年に続き途中でダウン。
またまた最後まで起きて居られませんでした。
皆さん、お元気ですね。

この暑さ、そろそろ沢登りシーズンですね。

スズコ

投稿者：大森雅宏 投稿日：2013年6月9日(日)17時28分20秒

スズコの集い、有難うございました。
いい天気で気持ちよく過ごしたのですが、帰ってきても足腰が痛い。
欲張って奥へ奥へと藪コギしたせいでしょう。
来年はセーブしないと。

スズコ

投稿者：塩崎将美 投稿日：2013年6月9日(日)12時03分22秒

氷ノ山に登ってきました。
駐車場から1時間40分、天気にも恵まれ気持ちよく歩きました。
下りには竹やぶと悪戦苦闘、根曲がりだけを採りました。
夜は天滝の東屋で山菜の天麩羅やおひたしで宴会。

大森君、山本君、何時もの事ながらお世話になり有難うございました。



Re: スズコ

投稿者：山本恵昭 投稿日：2013年6月4日(火)21時30分21秒

> [No.1860\[元記事へ\]](#)

塩崎さん、連絡有難うございます。

天気もよさそうですね。

少々遅くなくてもOKです。

大段が平周辺で、食べれそうなものを探しておきます。

現在参加予定は、武田さん（午後から宴会へ）、カンさん、塩崎さん、山口さん、平井さん、井上さん、松下さん、大森さん、私の9名です。

他に参加される方は居られませんか。

テントを車に積んでいきます。

Re: スズコ

投稿者：塩崎将美 投稿日：2013年6月4日(火)13時09分8秒

山本恵昭さんへのお返事です。

>

朝7時に阪急六甲出発します、少し遅くなるかも。

カンさん、井上君、松下君、同級生の山口、私の五人で走ります。

私と山口は車で寝ます。

後のメンバーは???

よろしく願います。

塩崎

Re: スズコ

投稿者：塩崎将美 投稿日：2013年5月30日(木)15時58分44秒

参加させていただきます。

井上君と一緒に走ります。

よろしくお願いします。

スズコ

投稿者：山本恵昭 投稿日：2013年5月27日(月)20時50分30秒

今年もスズコの季節となりました。

下見に行けていないので様子が分かりませんが、6月8日(土)9日(日)にスズコキャンプを行おうと思います。

6月8日(土)10:00に大段が平に集合。スズコ採りの後、いつもの場所で宴会予定。

9日(日)適当に解散。

いつもの東屋は、今年も無事にあるでしょうか。

参加希望の方は、山本か大森さんまでご連絡下さい。

エベレスト&カンチェ

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2013年5月25日(土)07時14分15秒

三浦雄一郎はC2まで下った。アイスフォール通過をまじかに最後の緊迫の状況下か。カンチェンジュンガでハンガリーの著名なクライマーが行方不明、遭難死の恐れありとの事。三浦が無事BCに帰還する頃に、悲報が入るかも知れない。

写真のUP

投稿者：管理人 投稿日：2013年5月23日(木)09時47分44秒

山本恵昭君が投稿された海谷高地の写真をアルバムにUPしました。

ずいぶん前に受け取ったのですが大山に長期滞在してたため作業が遅れました。

申し訳ない。

誰か若い人、ホームページの管理、変わってくれませんか？

越田さん ご丁寧に

投稿者：福田信三 投稿日：2013年5月22日(水)14時30分33秒

越田さん、

ご丁寧なメールをいただきお恥ずかしい次第です。

ど素人の編集でしたので発刊直後は冷や冷やでした。

しかし、会員の皆様方のご気配りで、どやされることもなく読んでいただけたようで

ホッとしておりました。

この度、大森さん復帰にさらにホッとした次第です。
ここまで来たからには会員が存在するまでの継続を希望します。

会員の皆さま、これからは大森さんへのご協力をお願いいたします。
原稿さえ集まれば編集は楽になります。私も最低 1 編の紀行文を出そうと決めました。

「山嶽寮」新旧編集者への謝意

投稿者：越田和男 投稿日：2013年 5月 19日(日)11時 01分 48秒

福田信三様

4年間の編集有難うございました。内外を飛び回っておられるなか、海外からの遠隔操作など、さすがと感じ
入って居りました。今後も、編集経験者としてのご執筆を期待いたしております。

大森雅宏様

最登板引き受けてくれて有難うございます。山嶽寮の根強い人気の継承と、潜在的執筆者の掘り起こしを
是非お願いします。本誌が、甲南学園内や、山岳界での甲南山岳会の存在感を高めてくれることを期待い
たしております。何卒よろしく。

「山嶽寮」原稿のお願い

投稿者：大森雅宏 投稿日：2013年 5月 18日(土)00時 31分 29秒

山嶽寮の発行にご尽力いただいた福田さんから引き継いで、今年から担当になりました。よろしく願いいた
します。

何年か前、小川さんが総会の席上で

「私はいくつもの団体に関係している。そんなことで毎年いくつもの機関誌・広報誌が届く。たいていはまあ後
で読もうとなる。しかし、山嶽寮は別である。届いたら何はさておき、はじめからおしまいまでまず全部目を通
す。私には、山嶽寮は格別のものである」

とっておいででした。

実は振り返りの担当ですが、小川さんのお言葉を心のよりどころに作業したいと思います。

さて、本題は原稿の募集、ご寄稿のお願いです。

題材は、最近の山行や仲間との集い・ご家族、お友達との自然に親しむ旅行・近頃お気に入りの趣味・最近ワシこんなこと思うねん・今は昔の回顧談、などなど材料はいくらもありそうです。お好みのもので。ジャンル問いません。

仕上がりページは、B5 20文字×35行 2段組を基本にします。

手書きの原稿は6月末を目安に、ワープロなど電子ファイルは7月末を目安にお寄せください。

私が担当のときに、小川さんが楽しみにしておいで「山嶽寮」がぼしゃるのは大変具合が悪いので、ぜひ暖かくご対応くださるよう、心よりお願いいたします。

私、実は小川さんのファンなんです。

あ、ほかにも山岳会の中で、素敵だなあと思う方は何人もおいでです。念のため。

さて。

川野君。

五龍の敗退は残念ですが生きててよかった。貴兄にかかるときと敗退も材料になる。ほかの山でも歓迎します。岳友今井君に要君を加えての上野駅周辺飲み屋の話も聞きたいなあ。原稿よろしくね。ぜひ。

山本君。

頸城の海谷高地、カンさん・井上さん・貴兄に小生、心易いメンバーで行って見たら大変良かった。あの地形の面白さとカンさんのご健脚ぶりをぜひ皆さんにご紹介ください。原稿よろしくね。ぜひ。

井上様。

大山登山の後の飲み会のご盛会ですよね。きっと。楽しさ伝わる原稿をお待ちします。ぜひぜひ。

メールのあて先は masa76◎aamil.plala.or.jp (◎のところは@マークに置き換えてください。上の投稿者名の後ろの封筒マークからも接続します)

郵送の場合は 654-0141 須磨区竜が台 2-1-44-503 大森雅宏 あてにお願いします。

五竜岳敗退

投稿者：川野幸彦 投稿日：2013年5月8日(水)10時34分38秒

ご無沙汰しています。皆様、お元気ですか？

連休に五竜岳を目指しましたが、吹雪で敗退しました。この日は白馬大雪渓で雪崩が起きました。結構、新雪が積もっていました。5月でも吹雪くと怖いですね。海谷にも行きたかったです。またお誘いください。

頸城 海谷高地

投稿者：山本恵昭 投稿日：2013年5月7日(火)02時39分35秒

森本さん、井上さん、大森さん、私の4人で、頸城の海谷高地にベースキャンプを張って阿弥陀山に登ってきました。

3日、山峡パークキャンプ場は駐車場以外すべて雪の下。7:30発、夏道はほとんど雪に隠れ、結構急なトラバースやブッシュ漕ぎを経て、海谷高地11:00着。河原の近くの雪原にテントを張り、スノーテーブルを作って昼食。午後は、周囲の雪山や岸壁を眺めながら皆さんが持ち上げてくださった各種の酒を飲み、のんびり過ごす。ただ広い雪原に、雪崩で先を吹き飛ばされた木々が転がっている。イワナ1尾、河原で盛大な焚火。

4日、6:00発。阿弥陀沢左股をひたすら登りコルへ到着。途中、クマの足跡があったり、カモシカが尾根を横切ったり、彼らの庭を訪問している感じ。崩れた雪庇跡や綺麗な雪稜をたどり、阿弥陀山山頂9:00着。見渡す限りの絶景、駒ヶ岳、鬼ヶ面、雨飾山、金山、昼間山、焼山、火打山が連なり、遠くには梅池から不親知へ続く山々。すぐ北には日本海が近い。阿弥陀沢左股をシリセード、グリセード、スケーティング、各自の好みで駆け下り、テントへ11:00着。午後はまたのんびり。イワナ3尾、焚火三昧。

5日、ゆっくり撤収し9:00発。この3日間でかなり雪が溶けて現れた夏道をつなぎ、山峡パーク11:00着。ヒスイの湯で汗を流し、スーパーで買出しをして糸魚川の公園で無事下山の宴会、仮眠。渋滞にあわずに6日早朝、帰宅。

平らな雪原が続く海谷高地と急峻な頸城の峰、豊かな自然と良い仲間、イワナ釣りや焚火三昧、とても贅沢な時間を過ごしてきました。





大山で飲み会

投稿者：井上 知三 投稿日：2013年 4月 30日(火)07時 51分 43秒

塩崎さん 何かとお世話ありがとうございます。

現在、松下 哲夫さんと僕と二人で参加いたします。まだ車に余裕がありますので参加の方お知らせください。

「南里章二の世界史サロン」

投稿者：越田和男 投稿日：2013年 4月 27日(土)09時 01分 30秒

「アサヒスタイル」の連載では後半部分しか読んでいなかったのですが、今回の冊子で全文を楽しく拝読させていただきました。小生、幼少の頃は結構地理好きだったのですが、中高での地理や歴史の授業がさっぱり面白くなく、教えた教師が悪かったなどと、冗談にいつてますが、南里さんのような先生に習っていたらどんなに面白かったろうに、と思うことしきりです。

「中央アジア史」「アフリカ探検史」など辺境への旅から世界史に思いを馳せて語る彼の講義は、実に血沸き肉躍るものだったことでしょう。南里さんの旅そのものも羨ましいし、それを聞いて育った生徒もまた羨ましき限

り。このたび目出度く定年退職され、より自由の身になられた南里さんの、これからの活躍の方向や如何に。

お知らせ

投稿者：南里章二 投稿日：2013年4月26日(金)17時28分52秒

昭和38年から49年にかけて、甲南高校山岳部の顧問をしていただいた高橋喜一先生（79）が去年の5月、重度の脳梗塞を患い、現在、JR 摂津富田駅近くの藍野病院で療養中です。一昨日お見舞いに訪れましたが、目は開けておられるものの、お言葉を発することができず、先生がお元気だった頃（トライアスロン70代で日本ベスト5）を知るものにとってははなはだつらい時間でした。ご家族が大変な思いをされているので、先生と山行を共にしたことがある会員の皆様が励ましのお便りを下されば、喜んでいただけると思います。先生の住所は 569-0056 高槻市城南町1丁目4-15 です。

別件ですがこの3月で、私儀41年間勤めた甲南高校を退職いたしました。退職記念に去年一年間、「スタイルアサヒ」に連載した「南里章二の世界史サロン」をまとめた冊子を製作いたしました。先週土曜の総会に参加された会員の皆様にはお手渡しできましたが、まだ余分にありますのでご希望の方がおられましたら、郵送させていただきます。何年か前の名簿と住所が異なる方は、現住所をお知らせください。

大山で飲み会

投稿者：塩崎将美 投稿日：2013年4月25日(木)19時06分26秒

新緑の大山で集まりませんか？

5月18日土曜日にバーベキューで一杯の予定です。

私は16日から滞在しています。

飲んだ後の山登りはしんどいですから17日中に到着し18日朝から大山登山、夕方から宴会。

19日解散。

勿論宴会だけで登らない方も大歓迎です。

食材//酒は現地で調達します(割り勘)。

寝具が少ないですから持ってる方はシュラフ持参してください。

参加希望者は掲示板かメールで連絡してください。

塩崎

熊谷 治さんの銘板

投稿者：井上 知三 投稿日：2013年4月23日(火)06時49分3秒

前日の雨で慰霊祭は中止となりましたが当日までに担当の石原 浩二さんが銘板を設置いたしました。ご報告いたします。

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2013年4月22日(月)09時10分5秒

有難うございます。会計／秋の集会／HP／山嶽寮／事務局、諸兄の長年のお役目に感謝！

：

ひとり慰霊祭

投稿者：山本恵昭 投稿日：2013年4月21日(日)18時06分24秒

昨日の総会は失礼しました。

兵庫ルーカールニバルの仕事を17:00頃には終えて、遅れて参加する予定でした。しかし、結局終了したのは19:30、冷たい雨の中で震えていました。

今朝は張り切って8:40頃芦屋川発、キャスルウォールでロープを固定し、ソロ岩登りを3本ほど楽しみました。その後、荒地山の岩小屋周辺で岩遊び。

岩小屋にはエサ容器や段ボール箱が置いてあり、猫の巣になっていました。風吹岩も猫だらけですが、捨て猫と無責任なエサやりはいい加減にしてほしいものです。

荒地山から慰霊碑へ下り、ラーメン作って待てど暮らせど誰も来ず。これは昨日の雨で中止ということかと諦め、奥のプロペラ岩の方で山菜採りして帰ってきました。

家に帰ると大森さんが中止連絡を下さっていました。総会の会計報告も代行していただき、有難うございました。家族からは「携帯電話を持ってないからや」とからかわれています。

久しぶりの山登り、なんだかとても気持ち良かったです。今夜は、コシアブラの天婦羅で一杯やります。

山岳会総会

投稿者：井上 知三 投稿日：2013年4月21日(日)14時06分32秒

事務担当より昨日の総会についてお知らせいたします。

参加者は関東より特別会員の鈴木 敬吾 様 旧制の福井 實 様兩名を含め26名の参加でした。

例年通り事業報告会計報告と来年度の事業予定等の順序で進みました。

今年の議事・報告事項は例年より議題が多く下記の様なことが話し合われました。

① 会長交代並びに関連人事について

会 長：50年卒 平井 幹男さん

会 計：山本 恵昭さん【留任】

秋の集会：渋谷 一正さん【留任】

ホームページ：塩崎 将美さん【留任】

山 嶽 寮：大森 雅宏さん【新任】

事 務：井上 知三【留任】

残りの副会長・慰霊祭については新会長に一任という事になりました。

② 記念行事について

記念行事については90周年として再来年に何か行事を行うということで新会長・世話役に一任になりました。(出版物・記念号等ではなく集会とする)

③ 大学山岳部の現状について

部室の取り壊しが決まっており部室の備品についての処分が学校より求められています。OB 立ち合いで整理し残りは処分

また、山岳部の合併・休部・廃部については現役と大学の問題なので現役にアドバイス・要望を現役に伝えるという事になりました。

④ 長期間の会費未納者【5年以上の未納者】について

今年の秋の山岳寮発送の際に山岳会の事情【金銭的】のりつな納付説明文書を同封し納付を促しその後の未納者については山岳寮の送付を行わず年一回の総会の案内だけを送付するということになりました。

気が付いたことのみ書いてみましたご参考になさってください。

富士登山

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2013年4月17日(水)10時26分44秒

先週、三田に行き、武庫川堤沿いを歩き、有馬富士に行ってきました。少し岩場もありましたが全くの軽登山。その昔、ゴルフをシツチャカメツチャカやっていたころ、良く行った有馬富士カンツリークラブから、なかなかの麗峰だなあと、眺めていたあの頃を思い出しています。

山岳会総会

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2013年4月10日(水)20時08分15秒

井上知三兄、いつもお世話になります。返信してない事に気が付きました。以前から決まっていた堺行きの記事有り、欠席です。創部90周年の記念事業、あってほしいものです。今年75歳の会員には100年はチト先過ぎますので。

山岳会総会 出席の件

投稿者：福井グリン 投稿日：2013年4月9日(火)12時24分36秒

井上さん；何かとお世話になります。出席のハガキに書きました平生記念館の宿泊の件・東京甲南会より申し込み、完了しましたのでご懸念なく。

皆さんにお目にかかれるのを楽しみにしております。

山岳会総会

投稿者：大森雅宏 投稿日：2013年4月7日(日)23時05分11秒

井上様

総会参加できそうですので、1名追加でお願いします。

大森

山岳会総会

投稿者：井上 知三 投稿日：2013年4月6日(土)10時40分30秒

事務担当より

山岳会総会の現在の参加者について下記の通りお知らせいたします。

鈴木 敬吾・小川 守正・小原 耕治・雨宮 宏光・鈴木 頼正・芦田 匡平・藤安 賢一・田中 孜・牧野 宏・武田 雄三

村上 与利一・安井 正・國分 廣昭・石原 浩二・南里 章二・平井 幹男・川村 静治・井上 知三 以上18名です。

参加希望の方は4/10(火曜日)までに返信葉書にてご連絡ください。

花見三種

投稿者：山本恵昭 投稿日：2013年4月4日(木)00時13分46秒

しばらく遠出を控えていましたが、先週末、久しぶりに妻と和歌山へ車中泊の旅に行ってきました。

土曜日、まずは紀ノ川市桃山の桃源郷へ。「荒川の桃」の産地です。紀ノ川の土手から見ると一面ピンクの桃の花。満開でしたが、すぐに摘花されるそうです。作業中のおばちゃんいわく「（嫁に？）来た頃はかわいい花を摘むのがかわいそうで仕方なかった」そうです。台に乗っての手作業で大変そうでしたが、そのお陰で大きな桃が食べられるのですね。

白い石灰岩に囲まれた白崎の道の駅で車中泊予定。改装中でさびしい雰囲気だと思っていると、やはり夜半バイクの兄ちゃん達が。もう1台キャンピングカーもいましたが、早々に漁港近くの公園へ移動しました。

日曜日、思いつきで日の岬へ。紀伊水道をバックに、こちらは白い桜が満開でした。

漁港で地元の人から「今、スモモの花がきれいやで」という情報を仕入れ、言われたとおりに少し山の手に入ると、スモモの花が八部咲き。桜より少し大きい真っ白な花でした。





写真の投稿

投稿者：管理人 投稿日：2013年4月2日(火)10時26分41秒

浪川君から蓮華温泉スキーツア-の写真が届きました。

アルバムにUPしました。

蓮華温泉ツアー

投稿者：kannroku 投稿日：2013年4月1日(月)20時49分49秒

蓮華温泉近辺での山スキーを楽しんできました。

メンバー 小西・山本薫・浪川(L)・森本

3/26(火) 曇り 19:30 京都駅前集合 山本さんの車で一路柵池“前田館”へ

3/27(水) 曇り 8:15 ロープウェイで最上部自然園に。刻々と進まぬシール登行。天狗原祠で早飯を食べて今日の宿蓮華温泉を目指して滑降開始。振り沢ツアーコースは快適ではなかった。途中から中尾根のトラバースの連続になり年寄りには、こたえる滑りとなる。15時過ぎ蓮華温泉着。しんどい一日であった。

3/28(木) 雨後晴 雪倉岳目指すべく6時起床。トタン屋根に雨音が。70歳組は大きな声で今日は温泉巡りと。病み上がりの一番の若手も賛同の一票。一人出発準備をしてるリーダー浪川も3:1で泣き泣き温泉巡りに。4人で仙気の湯貸切。4時間のんびりと温泉堪能。

3/29(金) 曇り クラシックツアーコースの木地屋を目指してガスの中を4人揃っての滑降。すごいガスで10m先が見えないほど。木にククリツケてる目印がたより。5時間半で木地屋部落の公民館着。前田館のジ

ヨウジさんのお迎えを受けしんどくもあり、面白くもありのスキーツアー終了。

リーダー浪川さんの的確なルート読みには教えられました。車を出して頂きました山本さんありがとうございました。GPSの軌跡を作成していただいた小西さんありがとうございました。

フンザ

投稿者：飯田 進 投稿日：2013年3月30日(土)13時13分13秒

大森君ありがとう。お陰様で胸のつかえ取れました。なんとなくスカルドへ行くときの道に似ているなと思っておりました。こちらははっきりフンザ周辺と思い込んでいたので。

ところでフンザの映画での景観、あんなものじゃないですよ。あれは多分ロケ代けちって滞在時間が短く、天気が悪い間に撮影したものでしょう。フンザからはラカポシ、ディランなどの高峰がホテルの窓からでも見ることができます。もちろんウルタルはホテルの背後にかぶさってきております。リタイアごの計画に最適です。

フンザ「草原の椅子」

投稿者：大森雅宏 投稿日：2013年3月30日(土)10時14分16秒

飯田さんの「フンザの椅子」、景色が雄大ですね。

空気の澄み具合・くすみ具合が、「ああ、あんな感じやったんや」と伝わるみたい。スクリーンで見ると迫力ありそうです。いっそ現地に行ってみたらもっと素敵、と思えどチト遠い。だんだん現実味を帯びてきたリタイア後の計画に入れましょうか。

で、「ロケ地はどこか」のこと。
ネットの安直情報ですが、旅行社のページが目につきました。

「小説の舞台は中国西部のタクラマカン砂漠とフンザでしたが、映画ではタクラマカン砂漠のかわりに北部パキスタンのバルティスタンにある砂漠地帯で撮影が行われました」とありました。
そんなページがありましたので御注進。

<http://blog.livedoor.jp/saiyutravel-pakistan/archives/51900930.html>

<http://blog.livedoor.jp/saiyutravel-pakistan/archives/51900988.html>

春です。今年は神戸も桜が早い。
岡本駅の西側、線路沿いの咲き具合が見事だろうと、昼からちょっと見に行ってきます。

報告とお願い

投稿者：武田雄三 投稿日：2013年3月26日(火)15時30分34秒

2002年山岳会の世話役代表である会長を仰せつかり鋭意努力して参りましたが、最近体力の衰えと共に気力も萎えマンネリに陥ってそろそろ会長交代の時期で有ると判断、この山岳会総会で退任させて頂きたく存じます。

無事に務められましたのは、会務にご協力を戴きました甲南山岳会を愛する諸兄のお陰と感謝・感謝。

今年は山岳部創部 88 周年、「90 年 OR100 年の記念事業」を如何するか検討が必要な時期であり、若手人材の協力が不可欠と判断、コンタクトの有る諸先輩と相談の結果、後任の会長として平井幹男君（大 S50 文・63 才）を推挙させて頂く事となりましたので、ご承知置きの上一段のご協力をお願い致します。

なお、本人事は 4 月の総会でお諮りする事となります。 為念

フンザ

投稿者：飯田 進 投稿日：2013 年 3 月 23 日(土)13 時 38 分 35 秒

フンザついでに。草原の椅子 という映画ご覧になりましたか。フンザでロケされた映画（全編ではなく始めと終わり）そのフンザ周辺の景色で、どこかの谷に大きな砂丘（映画では砂漠と言っていた）が出てくるのですが、何処にあるのか、だれか知りませんか。

フンザでロケされたのは確かです。ウルタルやレディースフィンガーなどが映っています。

フンザの赤ワイン

投稿者：越田和男 投稿日：2013 年 3 月 23 日(土)10 時 47 分 51 秒

酒の話のついでに。

かつてパキスタン北部フンザ滞在時にガイドが手に入れてくれた密造赤ワインを美味しくいただいた。

貴重品だと思い、P E T ボトルに移して計 1 リットル位を苦勞して持ち帰った。

結果、ちっとも美味しくなく、むしろまずかった。話のタネにもならない話ですみません。

パキスタンのお酒

投稿者：福田信三 投稿日：2013 年 3 月 20 日(水)23 時 18 分 57 秒

飯田さん

そのようなお酒は知る由もなく味も想像が付きません。多分ワインでしょうか？

機会があればと思いますが、まさか大阪のパキスタンレストランには無いでしょうね。

酒

投稿者：飯田 進 投稿日：2013 年 3 月 20 日(水)14 時 15 分 38 秒

福田君。フンザパニってご存知？ パキスタンの桃源郷フンザで造られた密造酒。

もしフンザに行かれたら、そっと交渉してみたら。世の中にはこんな酒もあるんだ、というのが解りますよ。半分アル中の我々が、ひと月近く日干しで禁断状態になっていて、ようやく飲めるくらい、美味しい酒です。

横レス：お酒の話

投稿者：福田信三 投稿日：2013 年 3 月 20 日(水)11 時 22 分 36 秒

横レス失礼します。バーボンのお話ですぐ思い出したことは、現在上映中の“フライト”デンゼルファンとして観ましたが期待外れでした。

主人公はパイロットで機体整備不備のための大事故を機転で救い一躍英雄となるが、事故直後の血液検査で大量のアルコール反応

そのため無期懲役の羽目に。実はこのパイロットはアル中で操縦前日はおろか毎日ウヰッカをビンごとラッパ飲み、映画の誇張でしょうがとにかくすごい。

しかし、航空会社はこんな状態でも勤務させるという皮肉なんでしょうか？こう思った時、この映画にがっかりしてしまいました。

強いお酒と言えばバーボンでもブッカーズが超 60%、強けりやいいという人にはポーランドのウヰッカ、スピリタス、何と 96%、

ここまでくればお酒かアルコールかの区別は？との疑問発生。

さて、私はドライマティニが好きですが、ステアの時に氷がわずか溶けたアルコール 40%前後が一番うまいと感じます。それもジンジンに冷えたのがいいですね。

<http://>

Moonshine whisky のこと

投稿者：越田和男 投稿日：2013年3月18日(月)21時00分13秒

アメリカの禁酒法時代に、ケンタッキー、テネシー、ウエスト・ヴァージニアなどアパラチア山中の村々で、盛んに作られた密造酒のことです。Moonshine で辞書を引けば、「(酒を)密造する」という意味があり、作っている連中の事を Moonshiner というとのこと。何だか夜陰に紛れてこそこそとやっていた感じが出て楽しいですね。

この密造酒はその後もこの地方の伝統となっているらしく、店頭での市販はされていないが、相当マニアックなおジサン達が丹精をこめて熟成した逸品が、それなりの販売ルートで入手出来るらしい。少々高価だが、小生のかつての勤め先が、ケンタッキーとテネシーに工場を持っていた関係で、退職祝いに現地のスタッフがプレゼントしてくれた。

出張先で渡されたガロン瓶を日本に持ち帰るのは、相当リスクだったけれども、無事持ち帰って、賞味したらこれが絶品。小ビンに分けて会社の若い連中に配ったけれど、密造と聞くだけで敬遠するのが多くでがっかり。ところが、甲南の山仲間配ると、バブさん、飯田を始め、皆さん（お世辞抜きだろうと思うが）、うまいまいを連発。苦労して持ち帰った甲斐があった。飯田が書いているのは、まさにこの Moonshine のこと。勿論バーボン系です。

山登りと関係ない話で恐縮だが、山の酒の話なので許されたし。酔っ払いついでにいうと、Mountain Dew というのもある。文字通り「山の滴」だが、この言い方は禁酒法時代より古く、開拓時代からあったようだ。Good Old Mountain Dew なんて、爺様がバンジョー掻きならして歌うカントリーソングの歌詞にもなっている。山の酒はほんとに美味かった？

BOURBON

投稿者：飯田 進 投稿日：2013年3月16日(土)10時09分51秒

昨日コストコ（アメリカ風 会員制スーパー）でバーボンウイスキーを買ってきました。

銘柄は KIRKLAND。 KENTUCKY FRANKFORT というところで造られた アルコール度 51%のバーボンです。1?入り 1900円。

以前 コッシンがこれが本物のバーボンやで、と言ってお土産にいただいたバーボンに似た味で、実に美味しい。これいけますよ。

甲南歌唱祭

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2013年3月14日(木)18時32分11秒

""あけのみそらに そびゆるみねは ようらくまとう くおんのすがた"" と 慣れ親しんでいる甲南山岳部のこの(山の歌)を久しぶりに、気合を入れて歌ってきました。小原(おに)先輩から後で、"瓔珞"の意味わかるか?と聞かれてました。かろうじて返答が出来ましたが、作詞者のGEN、伊藤大先輩が甲南高校生の時に作られたとは、驚きです。今でいうシンガー-ソングライターなのでしょうか。その重厚さの中に、山岳讃歌が垣間見られますね。

Re: 甲南歌唱祭

投稿者：越田和男 投稿日：2013年3月13日(水)10時37分20秒

> [No.1822\[元記事へ\]](#)

年々参加者数が先細りするなかで、今年も山岳会から小原、鈴木、廣瀬の諸兄に武田会長も加わって頂き、安堵いたしております。

80余年も歌い継がれてきた「山の歌」は、当時の旧制高校生の作った優れた文化遺産であります。いまどきの、良く甲子園などで歌われている高校の校歌の多くの、上からのお仕着せの没個性的な歌詞とは一味も二味もちがい、山への情熱のほとばしる若き伊藤愿さんの歌には、いつもながらほれぼれしてしまいます。山の仲間内で歌い続ける以外にも、少しでも範囲を広げて、ご披露願えればと思う次第です。

遠隔地在住を理由に私自身は参加せずに申し上げるのもなんですが、関西在住の山岳会員のひとりでも多く方々が参加され、このような催しが何とか存続してほしいものです。

甲南歌唱祭

投稿者：武田雄三 投稿日：2013年3月13日(水)00時29分34秒

3月10日(日)正午より平生記念館セミナーハウスで開催の「第9回甲南歌唱祭」に参加しました。

山岳会OBの参加は小原・鈴木・広瀬の各先輩方と小生の4名、山岳部部歌「山の歌」を声高く斉唱して来ました。

甲南歌唱祭も参加者の高齢化と減少の為廃止となった「全国寮歌祭」と同根、「部歌・応援歌」を持つ野球部・ラグビー部・陸上競技部・山岳部・剣道部の極少数旧制高校卒業者(9名)と、各部に関連する新制大・高のOB33名の参加にとどまり昨年より減少、寂しかった印象で何時まで続けられるのか?

小生は「旧制甲南高等学校歌曲集」(昭和42年3月31日発行)の復刻版作成に当たり

- 1) 山岳会の故香月会長と故徳末さんご夫妻が多大の貢献をなされた
 - 2) 山岳部の「山の歌」&「雪の歌」・野球部の応援歌・蹴球部の部歌作詞者が山岳会の故伊藤愿さんで有る
- 山岳会に取って忘れてはならないと意気を感じて参加させて貰っています。

訃報

投稿者：井上 知三 投稿日：2013年 3月 10日(日)09時 59分 23秒

先日、熊谷さんの長女より下記連絡がありましたのでお知らせいたします。

永らくお世話様になりありがとうございました。父 熊谷 治は昨年 平成24年 1月 12日に永眠いたしました。これまでのご厚意に感謝致します。故 熊谷 治 長女 熊谷 昌美

落ちる

投稿者：平井 幹男 投稿日：2013年 3月 6日(水)10時 46分 55秒

いささか山とは関係がなくて申し訳ありませんが

現役の頃、岩を登っている時、手掛かりも足がかりも無く足がミシンを踏みだし、このまま手を離して思い切り空中へ飛び出したい衝動に駆られた経験をお持ちの方々もいらっしゃる事と思います。今回機会があってオーストラリアのケアンズ近郊で 10,000 フィート(3,000m)上空よりインストラクターと共にくっついて飛ぶ、タンデムスカイダイビングを経験しました。セスナで 10,000 フィートに達するとセスナの横の扉が開き、座った姿勢で飛び出します。20 から 30 秒フリーホウルとにかく地上に向けて落下、あっというまに 1000mほどを過ぎやとパラシュートが、確保練習の衝撃の倍程度のショックを伴って開きます。テレビの映像とは違い結構なスピードで地上に向かって旋回してポイントを目指して降下、そして無事着地。この間約 15 分程度。つくづく思いましたが岩登りは引力に逆らってやるスポーツで、間違ってもアイガーの頂上からは飛び降りないと心に誓いました。

Re: ACKU-news 38

投稿者：山本恵昭 投稿日：2013年 3月 5日(火)21時 33分 31秒

> [No.1818\[元記事へ\]](#)

> 山本恵昭さんから神戸大学山岳会の会報を送っていただきました。ありがとうございます。

平井様

無事に着いたようですね。

神戸大から数冊送っていただいたので、とりあえず送らせて頂きました。

他にもご入用の方が居られましたら連絡を下さい。

もう何冊かは追加でいただけると幸いです。

ACKU-news 38

投稿者：平井吉夫 投稿日：2013年 3月 4日(月)10時 18分 37秒

山本恵昭さんから神戸大学山岳会の会報を送っていただきました。ありがとうございます。

富士山

投稿者：飯田 進 投稿日：2013年3月3日(日)11時32分17秒

退屈しのぎにパソコン見ていたら、富士山の数、340あるそう。中島信典さんという人が18年かけて全国まわって調べたとかで、おらが富士340 という本書かれたそう。

Re: 富士山

投稿者：越田和男 投稿日：2013年3月2日(土)15時58分48秒

> [No.1815\[元記事へ\]](#)

福田さん、郷土富士情報有難うございました。まだ勘定してませんが、200近くありそうですね。全国の富士を全部登ることを目標にしている物好きの方も居られるとか。

わたしはそんな趣味はありませんが、アメリカ西海岸で、二つの富士に登った思い出があります。1966年の夏のことでした。

「アメリカの富士山 = Mt.セントヘレンズ 2950m」(ワシントン州)

「オレゴン富士 = Mt.フッド 3429m」(オレゴン州)

どちらも、氷河を抱えた立派な独立峰で、アイゼン、ピッケル、ザイルの世界でした。Mt.セントヘレンズはその後の大爆発噴火で上部が吹っ飛び、現在に高さは2550mと400mも低くなってしまいました。従って、もう誰も真似できない、と変てこな満足に浸って居ります。

富士山

投稿者：福田信三 投稿日：2013年2月27日(水)18時31分46秒

越田さん

“富士山に登った”に興味をひかれ調べてみました。

日本全県はおろか、台湾、アメリカの果てはチリにまで“**富士”がありました。

これらは郷土富士と呼ばれるとのこと。その多くは山容が「富士山」に似ていることから「富士」と呼称されます。

ほか、歴史的に「富士山」と何らかの関係がある山や、その土地の代表的な山に「富士」を付したのもあるようです。

関東地方周辺には人工の築山に「富士」を付して呼ぶことがあります。(富士塚)。

更に、「富士山」と称するのが三浦富士以外に2、3ありました。

日本人の富士に対する気持ちってすごいんですね。

参考：

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E9%83%B7%E5%9C%9F%E5%AF%8C%E5%A3%AB>

富士山に登った!!!

投稿者：越田和男 投稿日：2013年2月27日(水)10時51分32秒

一昨日(2/25)、晴れた一日、横須賀郊外の里山歩きを老齢会社仲間の5人と楽しんだ。

標高183m、通称三浦富士。ちょっと低いが国土地理院の5万図にはちゃんと「富士山」となっている。三浦半島の南部に東西に走る山脈があり、東端の富士山から砲台山204m、更に武山200mと繋がっており、これを西から大縦走する。竹川バス停から京急津久井浜駅までの2時間強の快適な山歩きだった。

武山への林道の登りを過ぎると、あとは山道で尾根筋のアップダウンとなり、山歩きの気分。砲台山には、東京湾の入り口と相模湾に睨みを利かせた、戦時中の頑丈な砲台跡がほぼ完ぺきな姿で残っていた。浅間神社を祀る183mの富士山頂から3776mの富士を眺めるのを楽しみにしていたが、あいにく雲が邪魔をして果たせなかったのが心残りとなった。

帰路、久里浜駅近くで、まだ3時だというのに営業中とあった焼き鳥屋の2階に上がり込んだら、なかなかのまじめな気合の入った店で、生ビールと本格的各種焼き鳥を堪能するというオマケがついた。

甲南学園歌唱祭

投稿者：武田雄三 投稿日：2013年2月22日(金)16時02分22秒

第9回甲南学園歌唱祭の案内がありましたので下記致します。

日時：平成25年3月10日(日) 正午～午後3時半

場所：甲南大学平生記念セミナーハウス

会費：4,000円(昼食準備)

歌唱：I 甲南高等学校 寮歌

征覇行・逍遙歌Ⅲ・遠征応援歌・逍遙歌Ⅱ・逍遙歌Ⅰ

友誼校(各校1曲)

II 運動部 部歌

野球部応援歌・ラグビー部 部歌・陸上競技部 部歌・山岳部 部歌・剣道部 部歌

友誼校(各校1曲)・応援歌・住吉神社・甲南学園歌・甲南高等学校校歌

#申し込み先

甲南大学同窓会 TEL(078)842-0357、FAX(078)811-9366

旧制の寮歌祭からの流れであるが、「甲南学園に愛着」有る方は是非参加下さい。

(無題)

投稿者：山本恵昭 投稿日：2013年2月20日(水)22時34分1秒

神戸大 HP に山田さんの雪見会スキーツアー報告を載せられています。

一度ご覧ください。

http://www.acku.net/Hiking-Climbing/159th_Yukimikai-Tsugaike.pdf

樽池－白馬岳（敗退）

投稿者：西濱昌典 投稿日：2013年2月17日(日)00時06分32秒

2月9日&10日友人と計2名で樽池から白馬を狙いました。9日：12時過ぎにスキー場に入って友人から借りた山スキーを履いてゴンドラ終着駅まで。14時半からスキーにて入山、天狗原に17時着、幕営。10日は朝から冬型で曇天、白馬乗鞍までスキー、強風。そこから山靴に履き替えて稜線へ抜けて30分ほど歩くも強風の為11時半にヤンピ。そこで昨年他界した父遺骨を散骨して引き返す。一昨年にスキーにて膝十字靭帯を裂傷したのでスキーを担いで天狗原まで戻り、そこからパウダースノーをボーゲンで下り駐車場に戻ったのが17時過ぎでした。久しぶりの冬の北アルプス稜線の風を楽しめてよかったです。

写真お投稿

投稿者：管理人 投稿日：2013年1月30日(水)07時23分48秒

神戸大の山田さんから写真が届きました

アルバムにUPしました

Re: 七曲滝

投稿者：塩崎将美 投稿日：2013年1月28日(月)06時20分58秒

> [No.1808\[元記事へ\]](#)

滝を見に行ってきました。

参加メンバーは安井、井上、塩崎。

六甲ケーブル下駅に集合、多くのハイカーがケーブルに乗り込んでいる。

乗るか歩くか、歩くか乗るか、乗りたい気持ちを抑え歩き出す。

若い時は1時間を切って登った油コブシの登りに1時間30分かかる。

ゴルフ場横を歩き1時間で極楽茶屋跡に到着。

おでんで熱燗を飲み、締めは饅頭、ほろ酔いで紅葉谷を下りました。

下りは結構雪が残ってました。

滝は完全氷結に程遠くイマイチ、2時間30分で有馬温泉。

温泉はやめて立ち飲みで一杯やり解散。

天气に恵まれ風もない冬の六甲を楽しんで来ました。



七曲滝

投稿者：塩崎将美 投稿日：2013年1月26日(土)10時38分22秒

急な話ですが、明日27日(日曜日)、六甲山の氷瀑“七曲滝”を見に行きませんか？

9時30分 六甲ケブル下駅集合、油コブシ、紅葉谷、有馬温泉まで。

昼食は寒いですから“おでん”と“熱燗”。

調理済みおでん(一人前)/うどん(1玉)/酒(?)を持ってきてください。

マイカップ/箸もお忘れなく。

コンロ/コッヘルは用意します。

写真の投稿

投稿者：管理人 投稿日：2013年1月25日(金)19時12分6秒

谷君から柵池山スキ-の写真が届きました。

アルバムにUPしました。

KAC会員故村上武雄さん

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2013年1月24日(木)07時59分46秒

雪山讃歌、シ-ハイルのこの時期にどうかと思いますが、連日報道されているアルジェリアでの事件に関連して故福でんさん(福田泰次先輩)と甲南尋常科/高校で同期でおられた村上先輩の事が鮮烈に蘇ってきます。30年ほど前の話ですが、当時村上さんは東京ガスに村上天皇ありと云われ、強力なリーダーシップを発揮されていました。当時イラクでのCITY GASSUPPLY SYSTEMのプロジェクトが浮上、東京ガスの参画に際して、村上社長はまず、””イラクの仕事は社員滞在して安全か””と云われ由。小生勤務していた三井物産の社員が””さすがあの社長の発言や””と感心していました。この案件は三菱商事と取り組んだようですが、その後の成り行きは把握してません。もし先輩が御存命なれば、今回の場面でのようなコメントなりを出されたかな思い、敢えて書き込みました。

雪見会お礼

投稿者：谷 勇輝 投稿日：2013年1月23日(水)07時38分14秒

雪見会参加の皆様。

19日日帰りということで、本当に短い間でしたが、楽しく参加させていただきまして有り難うございました。

久しぶりの山スキーに苦戦しましたが、充実した山行きでした。浪川さん、山本さん、山田さん(神戸大)お世話になりました。

飯田様

今年も大変お世話になり、有り難うございました。

来年も楽しみにしておりますのでよろしくお願いいたします。

雪見会のお礼

投稿者：山本恵昭 投稿日：2013年1月21日(月)22時09分6秒

飯田様、雪見会参加の皆様

今年も楽しく参加させていただき、有難うございました。

19日(土)は、浪川さん、谷くん、山田さん(神戸大)、私の4人でスキーツアーに。天狗原の東端から親沢源流へ急斜面を滑り込み、ひたすら沢治いに下ってヒヨドリ峰からの合流点で大休止。シールをつけて若栗へ登り、黒川沢の深雪経由で白馬乗鞍スキー場まで。後半、ガスで視界が悪かったので苦労しましたが、変化に富んだコースでした。

20日(日)は、チベットでお会いした長野県山岳協会のメンバー、浅川さんとグレンデで再会。シニア競技会に向けての練習中とのことで、誘われて急遽ポールレッスンに参加。オーストラリアからのスキーマーも交えて、賑やかに楽しみました。

1泊ではあつという間の雪見会でしたが、充実の2日間でした。

雪見会

投稿者：飯田 進 投稿日：2013年1月11日(金)11時54分8秒

部屋割りです

- 12号室 武田 井上 水渡
- 13 井本 安井 塩崎
- 14 井上会長夫妻
- 15 雨宮
- 16 和光 田中 山田(神戸)
- 17 浪川 小西 柏 上本 谷 石原 山本
- 1, 2号 田辺 南井 岡

以上です。

雪見会 神戸大メンバー

投稿者：山本恵昭 投稿日：2013年1月10日(木)22時00分0秒

飯田様

先ほどメールで送りましたが、神戸大から、井上会長夫妻・和光さん・田中さん・山田さんの5名が参加されます。

井上会長夫妻・和光さん・田中さんの4名は、18日夕食～20日朝食まで2泊。

山田さんは、私と同じく19日夕食～20日朝食まで1泊。

お手数をおかけしますが、よろしく申し上げます。

天気良ければ、19日か20日にどこかで山スキーをしようかと思っています。

雪見会

投稿者：井上 知三 投稿日：2013年1月10日(木)21時52分55秒

飯田 進 先輩 雪見会何かとご苦労様です。

先日、1月7日 先輩のP/cに下記のようにご連絡いたしました。ご確認をお願いいたします。

早速ですが、雪見会は武田 雄三 先輩と二人で下記の日程で参加いたします。

1月18日【金】午後 離阪 夕食 不要 宿泊のみ

1月19日・20日【土・日】 宿泊

1月21日【月】 朝食のみ 午後 帰阪

以上宜しくお願いいたします。

Re: 大山一般ルート山行

投稿者：塩崎将美 投稿日：2013年 1月10日(木)17時32分41秒

> [No.1795\[元記事へ\]](#)

西濱君

大山に小屋を持っています。

大山登られるなら基地として使ってください。

塩崎

Re: 雪見会

投稿者：塩崎将美 投稿日：2013年 1月10日(木)17時28分48秒

> [No.1798\[元記事へ\]](#)

飯田さま

幹事ご苦労様です。

井本洋さんが参加されます。

私の車で行きます。

スケジュールは私と一緒にです。

塩崎

雪見会

投稿者：飯田 進 投稿日：2013年 1月10日(木)11時44分44秒

雪見会 参加者と食事回数 以下の通りです。間違っていたら訂正願います。

雨宮、安井、塩崎 岡 18日夕食～20日朝食

柏 浪川、上本 小西 19日朝食～21日朝食

水渡 18日夕食～20日朝食

石原 17日夕食～19日朝食

谷 19日朝食～19日夕食

山本 19日夕食～20日朝食

南井、飯田 18日夕食～21日朝食
田辺 18日夕食～？ ガチャさん いつまで滞在ですか
10日昼現在です。参加表明まだの方。急いでください。

伊藤文三さん追悼文

投稿者：越田和男 投稿日：2013年1月9日(水)15時55分58秒

東大山の会・東大スキー山岳部の機関誌『TUSAC ニュース』2012年秋号に中村純二氏の執筆による追悼文「伊藤文三さんを悼んで」が掲載されている。同会会員の藤本慶光氏から、甲南山岳会の方々にも読んで頂けたらとのことで、平井吉夫経由で送られてきたので紹介する。

六甲山麓のヴォーリス設計になる邸での誕生に始まり、旧制甲南高校山岳部時代のロックガーデン通い、兄の新一さん、収二さんの後を追っての東大への進学、東大時代の鹿島槍荒沢奥壁の初登攀、軍隊生活、後年の奄美大島での5年間に及ぶヴォランティア活動、ロックガーデンの甲南のレリーフのことなどが詳しく書かれている。

コピーをご希望の方は平井吉夫または小生にご連絡ください。なお中村純二氏は東大名誉教授、日本山岳会会員で文三さんの葬儀の折には弔辞を読まれた。藤本氏によれば、この機関誌に故人の追悼文が掲載されるのは極めて稀とのこと。

雪見会

投稿者：青木 宏安 投稿日：2013年1月9日(水)12時24分5秒

飯田様

関学山岳会の青木です、都合により、今回は、欠席させていただきます。参加の皆様が多いに、お楽しみ頂く事を祈念致しております。

大山一般ルート山行

投稿者：西濱昌典 投稿日：2013年1月8日(火)19時43分48秒

1月2日の1日だけ休みがあったので大山へいつもの友人と行きました。

冬山まったくの初心者も連れて行きました。

当日は冬型が強くなり稜線は強風の為、北壁登攀を止めて一般夏道を行きました。

メガネ無しの目出帽無しでととても目が痛く寒かったです。

でも楽しかったなあ。

昨日、結婚しました。

年末年始の山歩き

投稿者：越田和男 投稿日：2013年1月8日(火)16時13分6秒

相変わらずアルピニズムなどは縁の遠い安易な山歩きを続けています。今年もそんな山歩きと辺鄙なところへの旅を楽しみたいものです。よろしくお付き合いの程を。

暮れの27日～28日はJAC図書委員会の仲間（平井センキチを含む）6名で西伊豆に行った。天気に恵まれず、山を歩いたのは初日のみ。戸田峠の駐車場から西伊豆スカイライン沿いの稜線歩きで達磨山982mへ。駿河湾越しの富士が望めず残念なるも、360度開けた山頂での祝杯はそれなりに満足いくものだった。車の回収に峠にもどった2名の他は、さらに稜線を南下して、伽藍山の駐車場で車と合流した。

その後、仁科峠経由で山間の禰宜の畑温泉の集落に至り、廃校となった小学校の校舎を利用した西伊豆町営の『やまびこ荘』に泊まった。一泊二食付き5450円。鹿の肉が手に入ったというので、シシ鍋を追加注文したら、これが美味。源泉かけ流しの温泉もあり、納得の宿というべきか。25mプールには温泉が引かれており、湯煙を上げていたが、さすがに寒そうで誰も泳がなかった。

新年の山歩きは家内と表丹沢の高松山801mへ。御殿場線の山北から北東に入る谷の林道の5～6キロ先に、ひっそりとかつての開拓村高松の集落がある。小学校は廃校になっていたが、新築の家があったり、家内工業的な小さな工場もあって、今も健在だ。この集落の上部の尺里（ヒサリ）峠、別名「大六点」550m、にまで車を入れたので、山頂までは小一時間だった。西・南面が開けた山頂からは、富士の裾野（この日も山頂は雲の中）、愛鷹連山、箱根の山々、相模湾などが望めた。快晴とは言えないが、雨や雪の心配もなかった初山歩きは、今年の山と旅を暗示しているようだった。

写真のUP

投稿者：管理人 投稿日：2013年1月2日(水)07時37分7秒

明けましておめでとうございます

会員の皆様のご健康とご多幸をお祈りいたします
本年もこの掲示板が活発に賑わう事を願ってます

山本恵昭君が写真を送ってくれました
アルバムにUPしました

謹賀新年

投稿者：福井グリン 投稿日：2013年1月1日(火)22時07分14秒

甲南山岳会の皆さん明けましておめでとうございます。
晴らしい山岳会に在席できた事をあらためてよかったと、思います。
同時代の方々が少なくなつて、なんとも言えない気持ちですが、
次いで皆さん方が元気に活動しておられるので、ホツとして、
毎週、掲示板を拝見しております。今年もよろしくおねがいします。

謹賀新年

投稿者：福田信三 投稿日：2013年1月1日(火)19時31分21秒

あけましておめでとうございます。

頼みもしないのに確実にやって来る元旦、今年こそはと思う元旦でもあります。

1 2月に入ってからメルボルンにいますが、
寒さと暑さからの逃避はやはり歳かもしれません。

皆様のご多幸をお祈りいたします。

福田

(無題)

投稿者：飯田 進 投稿日：2013年 1月 1日(火)15時 56分 3秒

謹賀新年

今年もよろしく願い申し上げます。